



スキャントロニクスシリーズ セットアップガイド

SATO
DCS & Labeling Worldwide

目次

1. はじめに	P1
2. セットアップ手順	
付属品の確認を行ってください	P2
プリンタドライバをインストールまでの作業手順	P3
プリンタ本体の準備を行ってください	P4
パラレルインタフェース接続 (オプション)	P6
シリアルインタフェース接続 (オプション)	P7
LAN インタフェース接続 (オプション)	P9
無線 LAN インタフェース接続 (オプション)	P11
USB インタフェース接続 (オプション)	P14
3. ネットワークユーティリティ	
はじめに	P15
プリンタ本体を確認してください	P15
ネットワークユーティリティを起動します	P15
プリンタに IP アドレスを設定します	P16
その他の設定	P20
プリンタから IP アドレスなどの設定情報を印字させるには	P35
4. プリンタドライバのインストール方法	
プリンタドライバのインストール方法	P36
パラレルポート インストール	P39
シリアルポート インストール	P43
LAN ポート インストール	P44
USB ポート インストール	P46
5. ラベル発行までの流れ	
(Windows2000/XP/Server2003/Vista/Server2008)	P48
6. プリンタドライバのアンインストール方法	P56
7. ファイル保存方法	P58
8. ファイル読み込み方法	P60
9. プリンタドライバ共有機能	P62
10. Q & A	P64
11. アクセサリ CD-ROM	P65
12. ご注意	P69

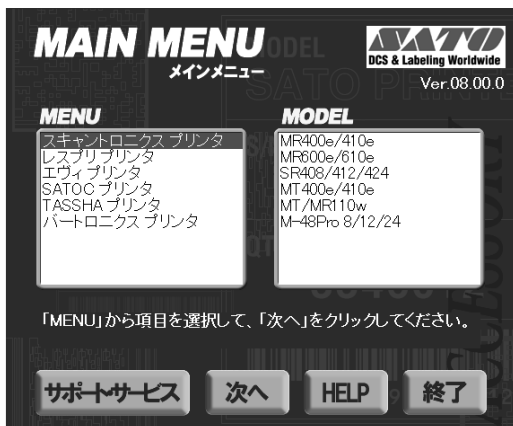
プリンタの設置／据置き作業が行われた後、セットアップ作業を行ってください。
本セットアップガイドは、プリンタを使用可能な状態にするまでの作業手順が記載
されています。

1. はじめに

本書は、スキャントロニクスシリーズプリンタを、プリンタドライバソフトを使用して動作させるまでの説明書です。

スキャントロニクスシリーズプリンタは、MR400e シリーズ、MR600e シリーズ、SR400 シリーズ、MT400e シリーズ、MT/MR110w、M-48Pro シリーズで構成されています。

各プリンタのプリンタドライバをインストールする場合は、下表のドライバ名称のプリンタドライバをインストールしてください。



ドライバ名称	対応機種
SATO MR400e SATO MR410e	スキャントロニクス MR400e シリーズ
SATO MR600e SATO MR610e	スキャントロニクス MR600e シリーズ
SATO SR408 SATO SR412 SATO SR424	スキャントロニクス SR400 シリーズ
SATO MT400e SATO MT410e	スキャントロニクス MT400e シリーズ
SATO MR110w	スキャントロニクス MT/MR110w
SATO M-48Pro8 SATO M-48Pro12 SATO M-48Pro24	スキャントロニクス M-48Pro シリーズ

「Windows2000」、「WindowsXP」、「WindowsServer2003」、「WindowsVista」、

「WindowsServer2008」でプリンタを使う場合に必要な設定方法を中心に説明しています。

本書で説明しているプリンタドライバ画面は、特に断りがない限り MR400e シリーズのものを使用しています。そのため、実際にご使用になるプリンタ機種によっては、画面構成が異なる場合がありますので、ご了承ください。

プリンタドライバとは、こんなソフトです。

コンピュータで作成したデータ（文書や絵）を…

- ① プリンタに送り出し…
- ② ラベルに印刷する作業を行います。

2. セットアップ手順

付属品の確認を行ってください。

プリンタを箱から出しましょう。箱を開けたら、添付品を確認してください。
添付品についての詳しい説明は、「取扱説明書」をご確認ください。
取扱説明書の手順にしたがって、プリンタを設置してください。

添付品

1. 取扱説明書
2. セットアップガイド（本書）
3. 保証書/メンテナンス案内書
4. クリーニングペン
5. アクセサリ CD-ROM
6. 電源コード/2 極アダプタ
7. リボン支管*¹ ※リボン巻取りに使用します
8. テスト用カーボンリボン*¹
9. テスト用ラベル
10. ポリューム調整用ドライバ ※プリンタカバーに取付けてあります

*1 MT400e シリーズ、MT110w は添付されていません。

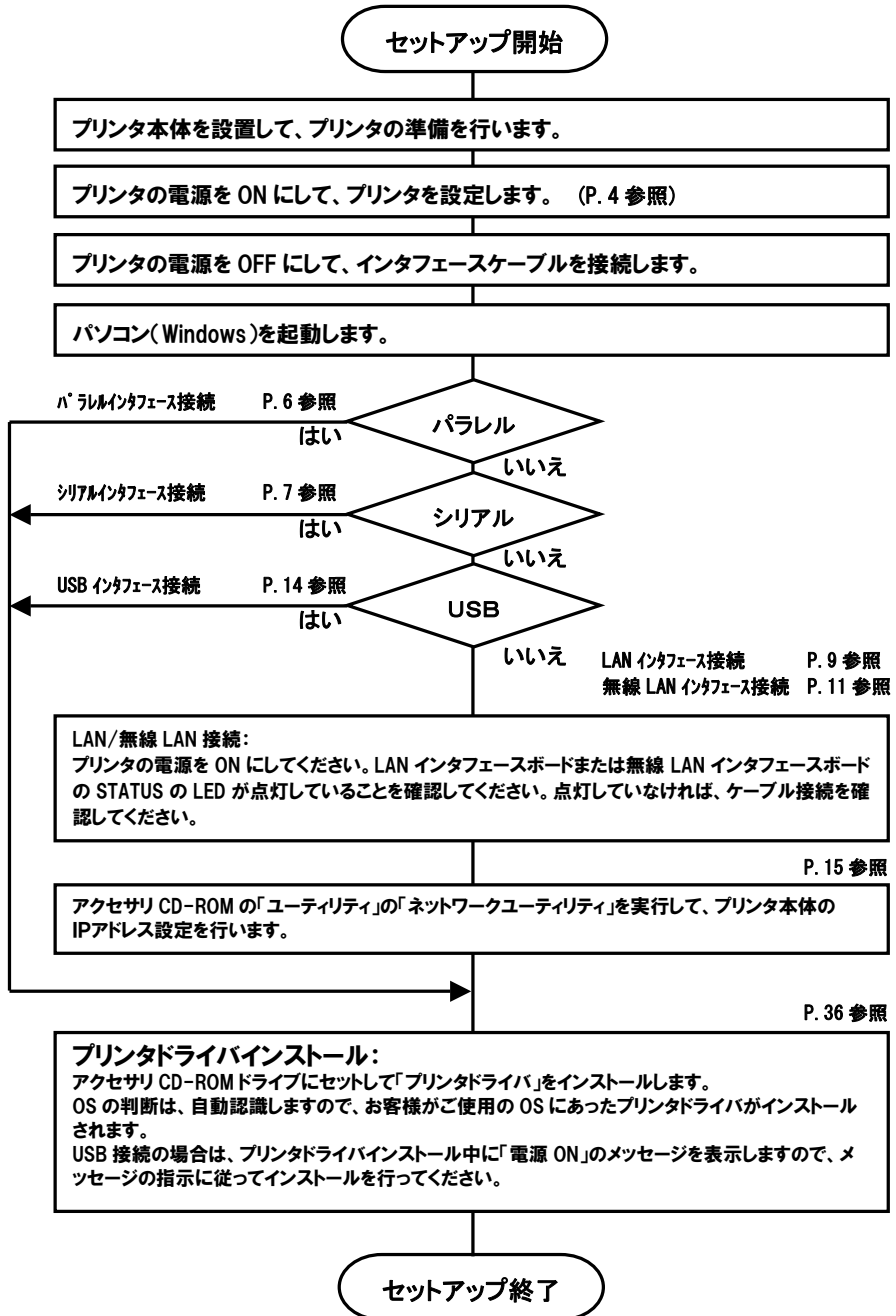
注意1 パラレルインタフェースを接続する場合、パソコンとプリンタとの間で双方向通信を行うため必ず推奨品の IEEE1284 準拠ケーブルをお使いください。

注意2 プリンタドライバは、「アクセサリ CD-ROM」に収納されています。

注意3 本プリンタに付属の電源コードセットは、本プリンタ専用です。他の電気製品には使用できません。

注意4 シリアルインタフェースを接続する場合、必ず推奨品の RS-232C ケーブルをお使いください。

プリンタドライバをインストールするまでの作業手順



プリンタ本体の準備を行ってください。

準備 1. 電源ケーブルをプリンタに接続してください。

準備 2. ご使用になるラベル、リボンをセットしてください。

準備 3. はじめにプリンタ本体の動作条件を設定してください。

設定 1. ディップスイッチ(DSW2)を設定してください。

ディップスイッチ (DSW2)

NO	機能	説明
1	印字方式設定	ON : 感熱方式 OFF : 熱転写方式 (初期値)
2	センサ設定	ON : 未使用 OFF : 反射式 (アイマーク) (初期値)
3	ヘッドチェック	ON : 有効 (初期値) OFF : 無効
4	HEXダンプモード	ON : 有効 OFF : 無効 (初期値)
5	受信モード	ON : 1 アイテム受信 OFF : マルチ受信 (初期値) ※LAN 接続の場合は、OFF⇒周期応答ステータス ON ⇒ENQ 応答ステータス
6	ダウンロードモード	ON : 有効 OFF : 無効 (初期値)
7	工場設定用	通常 OFF (変更しないでください)
8	印字領域設定	ON : 178mm (MR400e、MR410e、MT400e、MT410e、MR610e、 M-48Pro8、M-48Pro12、M-48Pro24) 236mm (MR600e) OFF : 400mm (初期値) (MR400e、MR410e、MT400e、MT410e、MR600e、MR610e、 M-48Pro8、M-48Pro12、M-48Pro24) ※MT/MR110w は「ON」「OFF」に関係なく 300mm となります。

設定 2. ディップスイッチ(DSW3)を設定してください。

プリンタの動作モードを設定します。詳しい内容は、取扱説明書を参照してください。

設定 3. プリンタ本体の動作条件設定 (ユーザーモード)を設定してください。

LINE キーを押しながら電源を ON にしてユーザーモードを起動してください。
「印字濃度レンジ」、「印字濃度」、「印字スピード」、「基点補正」、
「ゼロスラッシュ切替」、「漢字コード切替」、「漢字書体選択」、
「プロポーションピッチ切替」の各種設定を行います。
注意：詳しい内容は、取扱説明書を参照してください。

準備 4. プリンタ本体の動作条件設定後、電源を OFF にしてください。

準備 5. プリンタの電源を ON にしてください。
(インタフェースケーブルは接続しないでください。)

注意5 パソコンにあわせた通信設定を行ってください。プリンタ設定を行った後、プリンタドライバをインストールしてください。

注意6 USB 接続の場合、プリンタドライバインストール中に、「プリンタの電源を入れてください」というメッセージが表示されます。それまでは、電源を入れないでください。

注意7 ヘッドチェックはヘッド断線の目安で、バーコード読取りを保証する機能ではありません。定期的に読取りチェックをお願いします。

注意8 バーコードをイメージ(BMP など)で作成するツール(MS-Barcode など)にて作成し、当社プリンタにて印字出力した場合、スキャナなどで読取りできない場合があります。これらのツールはあくまでもバーコードをイメージで作成されるため、正しいデータにならない場合があります。このため、スキャナなどでバーコード読取りできない場合は、プリンタおよびプリンタドライバのバーコード不具合ではありませんので、これらのツールを使用された場合の読取りについては保証いたしませんのでご注意ください。

この内容はイメージでバーコードを印刷時のトラブルを防ぐためホームページのドライバダウンロードサイトの注意書きとして掲載しています。

<http://www.sato.co.jp/download/software/content/section/4/9>

プリンタの電源が OFF のときに、インタフェースケーブルを接続してください。

パラレルインタフェース接続(オプション)

プリンタのパラレルインタフェースボードを確認してください。

下図のように、パラレルケーブル (IEEE1284 準拠ケーブル) を接続してください。



図 1.1 プリンタ背面

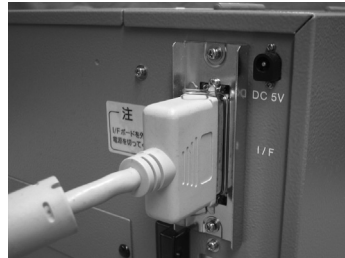


図 1.2 パラレルケーブル接続

パラレルインタフェース仕様

IEEE1284 準拠：互換モード、ECP モード、ニブルモードをサポートします。

ECP モードは、パソコン機種によりサポートしていないことがあります。

パソコンのパラレルインタフェース仕様をご確認ください。

ECP モードは、パソコンの BIOS 設定で行います。パソコン機種によっては、Windows 上のツールソフトを使用することもあります。

注意9 IEEE1284 準拠ケーブル以外のケーブルを使用される場合、データ化けが発生することがありますので、必ず推奨品の IEEE1284 準拠ケーブル(オプション)をお使いください。

注意10 ご使用になるパソコン機種が IEEE1284 をサポートしていない場合は、双方向通信ができません。

「書き込みエラー」が発生した場合、プリンタドライバのプロパティの「ポート」の「双方向サポートを有効にする(E)」のチェックをはずしてください。

この場合、プリンタのステータス情報を必要とする「ステータス監視モニタ」などのソフトは正常動作しません。ご注意ください。

注意11 パソコン機種によっては、ECP モードの設定を行っても ECP 動作を行わない機種があります。パソコンメーカーへお問合せください。

シリアルインタフェース接続(オプション)

プリンタのシリアルインタフェースボードを確認してください。

下図のように、RS-232C ケーブルを接続してください。

RS-232C インタフェースボードのディップスイッチ (DSW) の設定を変更する場合、①プリンタの電源を切り、②RS-232C ケーブルを取り外し、③シリアルインタフェースボードの取り付けネジを 2 本取り外し、④シリアルインタフェースボードを取り外してから行ってください。



図 2.1 プリンタ背面



図 2.2 RS-232C ケーブル接続



図 2.3 RS-232C インタフェースボード

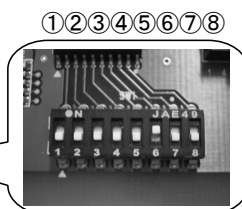


図 2.4 ディップスイッチ (DSW)

RS-232C インタフェース仕様

通信速度 : 9600bps、19200bps、38400bps、57600bps
(初期値「19200bps」)

データ長 : 7ビット、8ビット (初期値「8ビット」)

ストップビット : 1ビット、2ビット (初期値「1ビット」)

パリティチェック : 無し、奇数、偶数 (初期値「無し」)

通信プロトコル : 4種類

READY/BUSY (ER 制御)、XON/XOFF、ステータス 4、ステータス 3
(初期値 : 「READY/BUSY (ER 制御)」)

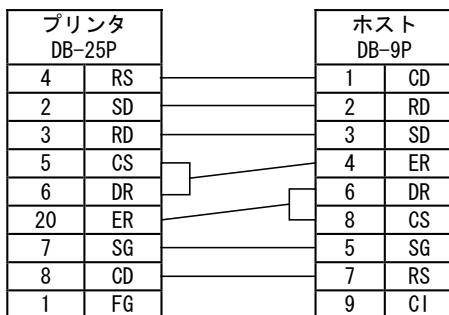
シリアルインタフェース接続の場合、パソコンの通信設定にあわせて、プリンタの通信設定を行ってください。

通信条件は、RS-232C インタフェースボードのディップスイッチ(DSW)で設定します。

RS-232C インタフェースボードのディップスイッチ(DSW)

NO	機能	説明															
1	データ長	ON : 7 ビット OFF : 8 ビット(初期値)															
2 3	パリティ設定	<table border="1"> <thead> <tr> <th>DSW2</th> <th>DSW3</th> <th>パリティ設定</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ON</td> <td>ON</td> <td>未使用</td> </tr> <tr> <td>ON</td> <td>OFF</td> <td>奇数</td> </tr> <tr> <td>OFF</td> <td>ON</td> <td>偶数</td> </tr> <tr> <td>OFF</td> <td>OFF</td> <td>なし (初期値)</td> </tr> </tbody> </table>	DSW2	DSW3	パリティ設定	ON	ON	未使用	ON	OFF	奇数	OFF	ON	偶数	OFF	OFF	なし (初期値)
DSW2	DSW3	パリティ設定															
ON	ON	未使用															
ON	OFF	奇数															
OFF	ON	偶数															
OFF	OFF	なし (初期値)															
4	ストップビット	ON: 2 ビット OFF: 1 ビット (初期値)															
5 6	ボーレート	<table border="1"> <thead> <tr> <th>DSW5</th> <th>DSW6</th> <th>ボーレート</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ON</td> <td>ON</td> <td>57600bps</td> </tr> <tr> <td>ON</td> <td>OFF</td> <td>38400bps</td> </tr> <tr> <td>OFF</td> <td>ON</td> <td>19200bps (初期値)</td> </tr> <tr> <td>OFF</td> <td>OFF</td> <td>9600bps</td> </tr> </tbody> </table>	DSW5	DSW6	ボーレート	ON	ON	57600bps	ON	OFF	38400bps	OFF	ON	19200bps (初期値)	OFF	OFF	9600bps
DSW5	DSW6	ボーレート															
ON	ON	57600bps															
ON	OFF	38400bps															
OFF	ON	19200bps (初期値)															
OFF	OFF	9600bps															
7 8	プロトコル	<table border="1"> <thead> <tr> <th>DSW7</th> <th>DSW8</th> <th>プロトコル</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ON</td> <td>ON</td> <td>未使用</td> </tr> <tr> <td>ON</td> <td>OFF</td> <td>ステータス 4 (ステータス 3 DSW2-8 ON)</td> </tr> <tr> <td>OFF</td> <td>ON</td> <td>XON/XOFF</td> </tr> <tr> <td>OFF</td> <td>OFF</td> <td>READY/BUSY (初期値)</td> </tr> </tbody> </table>	DSW7	DSW8	プロトコル	ON	ON	未使用	ON	OFF	ステータス 4 (ステータス 3 DSW2-8 ON)	OFF	ON	XON/XOFF	OFF	OFF	READY/BUSY (初期値)
DSW7	DSW8	プロトコル															
ON	ON	未使用															
ON	OFF	ステータス 4 (ステータス 3 DSW2-8 ON)															
OFF	ON	XON/XOFF															
OFF	OFF	READY/BUSY (初期値)															

1. ケーブル結線図「サトー添付品(オプション)」



注意12 シリアルインタフェースの詳細については、アクセサリ CD-ROM 「SBPL プログラミングガイド」をご確認ください。

注意13 パソコンとの通信設定があてないと正常動作しません。インタフェースエラーになります。

注意14 プリンタドライバを使用するときには、必ず通信プロトコルを「ステータス 4」、受信モードを「マルチ受信」に設定してください。

注意15 RS-232C ケーブルは必ず推奨品の RS-232C ケーブルをお使いください。

LAN インタフェース接続(オプション)

プリンタの LAN インタフェースボードを確認してください。

下図のように、LAN ケーブルを接続して電源を投入ください。

LAN インタフェースボードのディップスイッチ (DSW) の設定を変更する場合、①プリンタの電源を切り、②LAN ケーブルを取り外し、③LAN インタフェースボードの取り付けネジを 2 本取り外し、④LAN インタフェースボードを取り外してから行ってください。



図 3.1 プリンタ背面



図 3.2 LAN ケーブル接続

受信モードの初期値は、「周期応答ステータス」になります。

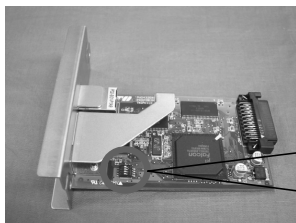


図 3.3 LAN インタフェースボード

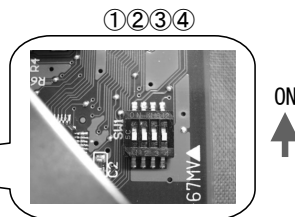


図 3.4 ディップスイッチ (DSW)

LAN インタフェースボードのディップスイッチ(DSW)

NO	機能	説明
1	未使用	OFF : 初期値
2	LAN インタフェースボード設定情報初期化	ON : 有効 OFF : 無効 (初期値)
3	LAN インタフェースボード設定情報印字 (IP アドレスなどの設定情報を印字します)	ON : 有効 OFF : 無効 (初期値)
4	LAN インタフェースボード自己診断印字 (LAN インタフェースボードの診断結果を印字します)	ON : 有効 OFF : 無効 (初期値)

※ディップスイッチ(DSW)を ON にしてプリンタの電源を入れたときの動作になります。
通常は全て OFF に設定してください。

LAN インタフェースボードの LED

LED	機能
STATUS	パケットを受信したとき点灯します。
LINK10	接続先を 10BASE-T と認識したとき点灯します。
LINK100	接続先を 100BASE-TX と認識したとき点灯します。

LAN インタフェース仕様

10BASE-T/100BASE-TX は自動認識します。
プロトコルは、TCP/IP をサポートしています。
全二重/半二重は自動認識します。

プリンタドライバは、専用 SOCKET インタフェースを使用してデータ通信を行います。

LAN インタフェース接続の場合、お客様のネットワーク環境にあわせた、通信条件設定が必要です。プリンタ本体のIPアドレスを設定してください。

プリンタ本体のIPアドレスは、添付品のアクセサリ CD-ROM にあるネットワークユーティリティを使って設定します。

ネットワークユーティリティの使用方法は、P.15 以降を参照してください。

注意16 ネットワークユーティリティを使うと、パソコンからプリンタのIPアドレスの設定や、設定内容の表示・印刷確認ができます。
また、プリンタの LAN インタフェースボードにあるディップスイッチ(DSW3)を操作することで、プリンタに登録されている設定内容をラベルに印字することができます。

操作 プリンタに登録されている、IPアドレスなどの設定内容をプリンタから印字させるには、プリンタの電源を OFF にして、プリンタの LAN インタフェースボードにあるディップスイッチ(DSW3)を ON にしてから電源を入れてください。
設定されている内容(IPアドレスなど)が印字されます。
注意:印字後は、プリンタの電源を OFF にして、必ずディップスイッチ(DSW3)を OFF にしてください。

無線 LAN インタフェース接続(オプション)

プリンタの無線 LAN インタフェースボードを確認してください。

無線 LAN インタフェースボードのディップスイッチ (DSW) の設定を変更する場合、①プリンタの電源を切り、②LAN ケーブルを接続している場合は LAN ケーブルを取り外し、③無線 LAN インタフェースボードの取り付けネジを 2 本取り外し、④無線 LAN インタフェースボードを取り外してから行ってください。



図 4.1 プリンタ背面 [1]



図 4.2 プリンタ背面 [2]

受信モードの初期値は、「周期応答ステータス」になります。

- 注意17**
- ・LAN インタフェースを使用する場合は、LAN ケーブルを接続して電源を投入してください。LAN ケーブルを接続せずに電源投入後、LAN ケーブルを接続しても LAN インタフェースには切り替わりません。
 - ・無線 LAN インタフェースを使用する場合は、LAN ケーブルを接続せずに電源を投入してください。LAN ケーブルを接続して電源投入後、LAN ケーブルを取り外しても無線 LAN インタフェースには切り替わりません。

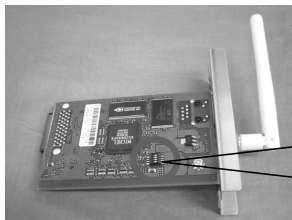


図 4.3 無線 LAN インタフェースボード

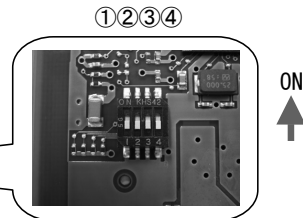


図 4.4 ディップスイッチ (DSW)

無線 LAN インタフェースボードのディップスイッチ(DSW)

NO	機能	説明
1	未使用	OFF : 初期値
2	無線 LAN インタフェースボード設定情報初期化	ON : 有効 OFF : 無効 (初期値)
3	無線 LAN インタフェースボード設定情報印字 (IP アドレスなどの設定情報を印字します)	ON : 有効 OFF : 無効 (初期値)
4	通信モード	ON : Infrastructure OFF : Ad Hoc (初期値)

※ディップスイッチ(DSW1、2、3)は、ON にしてプリンタの電源を入れたときの動作になります。
無線 LAN インタフェースボードの通信モードの初期値は、「Ad Hoc」になります。

LAN インタフェース使用時の無線 LAN インタフェースボードのコネクタ内蔵 LED

LED	機能
LINK	LAN 接続で検出したとき点灯します。 LAN 接続で検出待ち状態のとき点滅します。
STATUS	パケットを受信したとき点灯します。

LAN インタフェース使用時の無線 LAN インタフェースボードの LED

LED	機能
WIRELESS	未使用 (消灯)
LINK	未使用 (消灯)
STATUS	未使用 (消灯)

無線 LAN インタフェース使用時の無線 LAN インタフェースボードのコネクタ内蔵 LED

LED	機能
LINK	無線 LAN の電波強度 点灯：強 (75~100%) 点滅：中 (50~75%) 消灯：弱 (0 ~50%)
STATUS	未使用 (消灯)

無線 LAN インタフェース使用時の無線 LAN インタフェースボードの LED

LED	機能
WIRELESS	Infrastructure モードで動作したとき点灯します。 Ad Hoc モードで動作したとき点滅します。
LINK	無線 LAN 接続で検出したとき点灯します。 無線 LAN 接続で検出待ち状態のとき点滅します。
STATUS	パケットを受信したとき点灯します。

無線 LAN インタフェース仕様

- ・規格 IEEE802. 11b/g 準拠
- ・通信速度 自動切替
IEEE802. 11b 11/5. 5/2/1Mbps
IEEE802. 11g 54/48/36/24/18/12/11/9/6/5. 5/2/1Mbps
- ・通信距離 通信距離は、使用環境により変動します。
- ・通信チャンネル
Infrastructure 1~14
Ad Hoc 1~13
(初期値 11)
- ・SSID 任意の英数文字列を最大 32 文字設定
(初期値 「default」)
- ・認証方式 Open System/Shared Key/WPA
(初期値 Open System)
- ・WEP 「使用する」、「使用しない」
(初期値 「使用しない」)
- ・WEP キー
キーサイズ 「64bit」、「128bit」
(初期値 「64bit」)
- キーインデックス 1~4
(初期値 1)
キーサイズ 「64bit」
16 進入力の場合、10 桁設定
ASCII 入力の場合、5 桁設定
キーサイズ 「128bit」
16 進入力の場合、26 桁設定
ASCII 入力の場合、13 桁設定

- ・ 802.1x 認証
 認証モード 「ENABLE」「DISABLE」
 (初期値「DISABLE」)
 「EAP-TLS」、「LEAP」
 (初期値「LEAP」)
 ユーザ名 任意の英数文字列を最大 64 文字設定
 (初期値 NULL)
- ・ WPA 認証
 WPA モード 「PSK」、「802.1x」
 (初期値「PSK」)
 暗号化方式 「TKIP」、「AES」
 (初期値「TKIP」)
 WPA-PSK 共有キー 任意の英数文字列を 8～最大 63 文字設定
 (初期値「sato printer」)
 WPA 802.1x 認証モード 「EAP-TLS」
 (初期値「EAP-TLS」)
 WPA 802.1x ユーザ名 任意の英数文字列を最大 64 文字設定
 (初期値 NULL)

プロトコルは、TCP/IP をサポートしています。
 無線 LAN インタフェースの通信モードはディップスイッチ (DSW) にて指定します。

注意18 WPA2 には対応していません。
 また、Atheros SuperG、XR 機能には対応していません。

プリンタドライバは、専用 SOCKET インタフェースを使用してデータ通信を行います。

無線 LAN インタフェース接続の場合、お客様のネットワーク環境にあわせた、通信条件設定が必要で
 ます。プリンタ本体の IP アドレスを設定してください。

プリンタ本体の IP アドレスは、添付品のアクセサリ CD-ROM にあるネットワークユーティリティを使
 って設定します。

ネットワークユーティリティの使用方法は、P.15 以降を参照してください。

注意19 ネットワークユーティリティを使うと、パソコンからプリンタの IP アドレスの設定や、設定
 内容の表示・印刷確認ができます。

また、プリンタの無線 LAN インタフェースボードにあるディップスイッチ (DSW3) を操作
 することで、プリンタに登録されている設定内容をラベルに印字することができます。

操作 プリンタに登録されている、IP アドレスなどの設定内容をプリンタから印字させるには、
 プリンタの電源を OFF にして、プリンタの無線 LAN インタフェースボードにあるディップ
 スwitch (DSW3) を ON にしてから電源を入れてください。

設定されている内容 (IP アドレスなど) が印字されます。

注意: 印字後は、プリンタの電源を OFF にして、必ずディップスイッチ (DSW3) を OFF
 にしてください。

注意20 プリンタドライバを使用されるときは、必ず受信モードを「周期応答ステータス」設定し
 てください。

USB インタフェース接続(オプション)

プリンタの USB インタフェースボードを確認してください。

下図のように、USB ケーブルを接続してください。



図 5.1 プリンタ背面



図 5.2 USB ケーブル接続

注意21 USB 接続の場合、パソコンにプリンタドライバをインストールするまでは、USB ケーブルを接続した状態で、プリンタ本体の電源を ON にしないでください。ドライバがインストールされずに電源が ON にされると Windows の Plug & Play が実行され、USB ドライバインストールメッセージが表示されますのでキャンセルしてください。USB ドライバは、プリンタドライバとともにインストールされます。

注意22 ケーブルの接続箇所により、「出力デバイス名」が違いますので、間違えないようにケーブルを接続してください。パソコンに USB インタフェースを 2 ポート搭載している機種を例に「出力デバイス」を下記に記載します

例1) Windows 2000/XP/Vista の場合

5 & 3bcb19f & 0 & 1 (1ポート目)

5 & 3bcb19f & 0 & 2 (2ポート目)

例2) Windows Server 2003/Server 2008 の場合

5 & 39942784 & 0 & 1 (1ポート目)

5 & 39942784 & 0 & 2 (2ポート目)

注意23 USB ケーブルは、2メートル長のケーブルを推奨しています。2メートル長のケーブルをお使いください。

3. ネットワークユーティリティ

はじめに

ネットワークユーティリティ (Admin Manager) は、サトー製プリンタ専用ネットワーク環境設定ソフトです。

ネットワークユーティリティとは、こんなソフトです。

LAN に接続されたサトー製プリンタを、検索することができます。

検索されたプリンタを選択して、IP アドレスなどの条件を設定することができます。

設定状態をプリンタからラベルに印字することができます。

①

プリンタ本体を確認してください

LAN インタフェースの場合、プリンタに LAN ケーブルを接続し電源を ON にしてください。無線 LAN インタフェースの場合、プリンタに LAN ケーブルを接続せずに電源を ON にしてください。

プリンタの LAN インタフェースボードまたは無線 LAN インタフェースボードの STATUS LED が点灯しているか確認してください。

②

ネットワークユーティリティを起動します

1. 「SATO アクセサリ CD-ROM」を CD-ROM ドライブにセットします。
2. 「メインメニュー」画面が表示されます。

注意 自動起動しない場合は、CD-ROM の「AcclInstall.exe」をダブルクリックしてください。

3. 「メインメニュー」画面より、「スキャントロニクスプリンタ」をクリックします。
4. 「スキャントロニクスプリンタ」画面より、「ユーティリティ」をクリックします。
5. 「ユーティリティ」画面より、「ネットワークユーティリティ」を選択し「起動」をクリックします。
6. ネットワークユーティリティ「Admin Manager」が起動します。



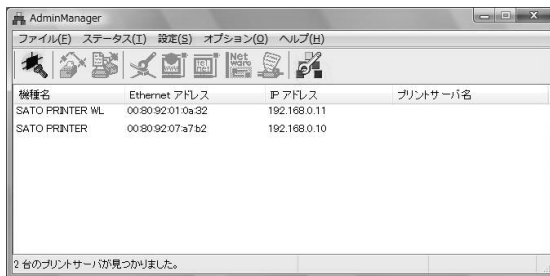
3

プリンタにIPアドレスを設定します まず、設定を行うプリンタを検索します。

1. 「ファイル(F)」メニューから「検索(S)」をクリックします。



2. 検索されたプリンタの一覧が表示されます。



注意 プリンタが検索されない場合は、再度「検索(S)」をクリックしてください。

- ・プリンタの電源を確認してください。
- ・プリンタの LAN インタフェースボードまたは無線 LAN インタフェースボードの STATUS LED が点灯していることを確認してください。
- ・ご使用のパソコンとプリンタがネットワーク環境に接続されているか確認してください。
- ・パソコンとプリンタを LAN クロスケーブルで直接つなぐか、ハブのカスケードを外して、ローカルの LAN 環境にしてください。
- ・無線 LAN インタフェースの通信モード、設定内容を確認してください。ローカルの LAN 環境にしてください。
- ・ご使用のパソコンの OS が WindowsXP SP2 以降、Server2003 SP1 以降、Vista、Server2008 の場合、Windows ファイアウォールを無効にしてください。
- ・LAN インタフェースボードをはじめて使用する場合や初期化した場合の Windows Vista/Server2008 では、DHCP のないネットワーク環境下において、AdminManager での検索ができません。DHCP のあるネットワーク環境もしくは、WindowsXP の環境下にて、AdminManager を使用して IP アドレスを設定してください。

3. 設定するプリンタをクリックしてください。

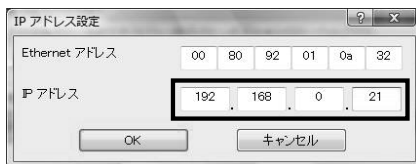


注意 タイミングにより、検索できないときがあります。繰り返し検索を行ってください。
画面は LAN インタフェースボード、無線 LAN インタフェースボードをセットしたプリンタを検索した場合です。
LAN インタフェースボードをセットしてある場合、機種名表示が「SATO PRINTER」となり、無線 LAN インタフェースボードをセットしてある場合、機種名表示が「SATO PRINTER WL」となります。

4. プリンタの IP アドレスを設定します。
「設定 (S)」メニューから「IP アドレス設定 (I)」をクリックします。



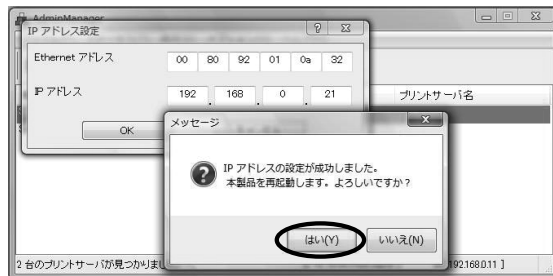
5. IP アドレスを入力します。



6. IPアドレスを入力後、「OK」をクリックするとプリンタにIPアドレスを登録します。



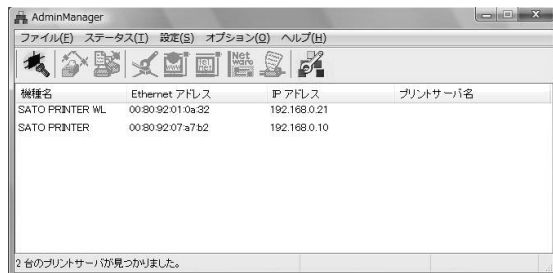
7. IPアドレスの登録を完了すると「IPアドレスの設定が成功しました。本製品を再起動します。よろしいですか?」のメッセージを表示します。「はい(Y)」をクリックしてください。



8. 「設定(S)」から「再起動(R)」を選択し、LAN インタフェースボードまたは無線 LAN インタフェースボードをリセットします。



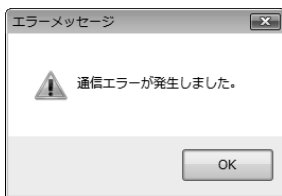
選択されたプリンタのインタフェースボードをリセットします。
リセット後、再度、プリンタの検索（「検索(S)」）を行ってください。
設定された IP アドレスのプリンタが表示されたら、プリンタの IP アドレス設定は完了です。
サブネットマスクなどの設定を行う場合、「その他の設定 (P. 20)」を参照してください。



ヒント

IPアドレスを設定する際に下記のエラーメッセージが表示された場合の対処方法

※IPアドレスを設定するパソコンとプリンタのIPアドレスが同一セグメントに設定されていない場合、下記のエラーメッセージが表示されます。



操作

※LAN インタフェースボードまたは無線 LAN インタフェースボードの初期化を行いません。

- ①プリンタの LAN インタフェースボードまたは無線 LAN インタフェースボードにあるディップスイッチ (DSW2) を「ON」にし、プリンタの電源を入れます。
(約 10 秒間電源を入れた状態にします)
- ②プリンタの電源を切ります。
- ③プリンタの LAN インタフェースボードまたは無線 LAN インタフェースボードにあるディップスイッチ (DSW2) を「OFF」にし、プリンタの電源を入れます。
- ④ネットワークユーティリティの「検索」からやり直して、IP アドレスを設定してください。

※パソコンに設定されている IP アドレスを確認し、再度 IP アドレスを設定してください。

4

その他の設定

1. 「設定(S)」 「プリントサーバの設定(S)」 をクリックします。



2. root パスワードの設定
「root パスワード変更」 をクリックします。



①パスワードの設定

任意の英数文字列を最大 7 文字設定できます。(初期値は無しです。)
パスワードを設定するためには、「古いパスワード」、「新しいパスワード」、「新しいパスワードの確認入力」の全ての入力が必要となります。

3. TCP/IP の設定

「TCP/IP」をクリックします。



LAN 設定の初期値	
RARP	有効
DHCP	有効
IP アドレス	0.0.0.0
サブネットマスク	0.0.0.0
ゲートウェイアドレス	0.0.0.0

- ① 「DHCP/BOOTP を使用する」のチェックボックスにチェックすると、DHCP サーバから割り当てられる IP アドレスを有効とします。
DHCP サーバから割り当てられる IP アドレスを有効とするため、IP アドレス、サブネットマスク、ゲートウェイアドレスの設定はできません。
IP アドレスなどを設定する場合、「DHCP/BOOTP を使用する」のチェックを外してください。
- ② 「RARP を使用する」のチェックボックスにチェックすると、MAC アドレスから IP アドレスを認識します。
MAC アドレスから IP アドレスを認識するため、IP アドレスの設定はできません。
IP アドレスを設定する場合、「RARP を使用する」のチェックを外してください。
- ③ 「IP アドレス」の指定ができます。
- ④ 「サブネットマスク」の指定ができます。
- ⑤ 「デフォルトゲートウェイ」の指定ができます。
- ⑥ 「FTP/LPD パナーを使用する」のチェックボックスにチェックすると、パナーページを印刷することができます。
チェックが外れている（機能が無効）ことを確認し、設定してください。

4. 無線設定

「Wireless」をクリックします。

無線 LAN の通信モードは、無線 LAN インタフェースボードのディップスイッチ (DSW4) を OFF に設定すると「Ad Hoc」モード、ディップスイッチ (DSW4) を ON に設定すると「Infrastructure」モードになります。



「Ad Hoc」モード
(ディップスイッチ (DSW4) : OFF 設定)



「Infrastructure」モード
(ディップスイッチ (DSW4) : ON 設定)

① SSID の設定

任意の英数文字列を最大 32 文字設定できます。(初期値は「default」です。)

注意 「Ad Hoc」モードの場合は、SSID の指定は可能ですが、設定は無効となります。

② 通信チャンネルの設定

1～13 のチャンネルを指定します。(初期値は「11」です。)

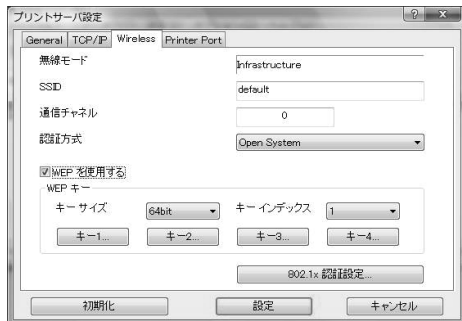
注意 「Infrastructure」モードの場合は、通信チャンネルの指定は可能ですが、設定は無効となります。

③ 認証方式の設定

認証方式を設定します。(初期値は「Open System」です。)

注意 設定した認証方式により設定する項目が異なります。

- ④ 「WEP を使用する」のチェックボックスをチェックすると、WEP キーの入力が可能になります。



- ⑤ キーサイズの設定
WEP キーのキーサイズを指定します。(初期値は「64bit」です。)
- ⑥ キーインデックスの設定
1~4 の WEP キーインデックスを指定します。(初期値は「1」です。)
- ⑦ WEP キーの設定
キーサイズを「64bit」に指定した場合、
ASCII コード入力では、5 桁入力します。
HEX (16 進コード入力) では、10 桁入力します。
「64bit」設定



ASCII コード入力



HEX (16 進コード) 入力



WEP キーを設定している場合、「変更」をクリックすると、ASCII コード、HEX (16 進コード) の入力になります。

キーサイズを「128bit」に指定した場合、
ASCII 入力では、13 桁入力します。
HEX（16 進入力）では、26 桁入力します。

「128bit」設定



ASCII コード入力



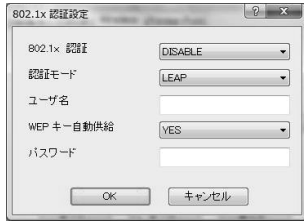
HEX（16 進コード）入力



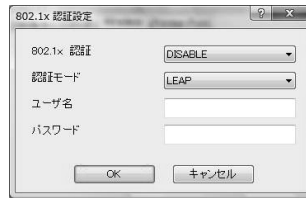
WEP キーを設定している場合、「変更」をクリックすると、ASCII コード、HEX（16 進コード）の入力になります。

- ⑧ 「802.1x 認証設定」をクリックすると、802.1x 認証設定の入力が可能になります。





「WEP を使用する」を有効にした場合



「WEP を使用する」を無効にした場合

⑨802. 1x 認証方式の設定

802. 1x 認証方式を設定します。(初期値は「DISABLE」です。)

⑩認証モードの設定

認証モードを設定します。(初期値は「LEAP」です。)

⑪802. 1x 認証ユーザの設定

任意の英数文字列を最大 64 文字設定できます。(初期値は「NULL」です。)

⑫WEP キー自動供給の設定

WEP キーの自動供給を設定します。(初期値は「YES」です。)

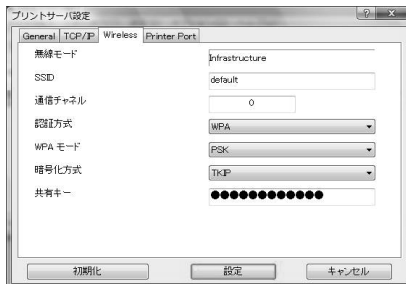
注意 「WEP キーを使用する」のチェックボックスをチェックした場合に設定する項目が表示され、設定が可能となります。

⑬801. 2x 認証パスワードの設定

任意の英数文字列を最大 32 文字設定できます。(初期値は「NULL」です。)

注意 「LEAP」に指定した場合、項目が表示され、設定が可能になります。

⑭「WPA」を設定すると、WPA 設定の入力が可能になります。



「WPA-PSK」



「WPA-802. 1x」

⑮WPA モードの設定

WPA 認証のモードを設定します。(初期値は「PSK」です。)

⑯暗号化方式の設定

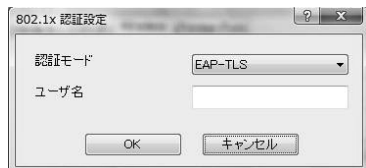
WPA 認証の暗号化方式を設定します。(初期値は「TKIP」です。)

⑰ 共有キーの設定

任意の英数文字列を 8～最大 63 文字設定できます。(初期値は「sato printer」です。)

注意 「PSK」に指定した場合、項目が表示され、設定が可能になります。

⑱ 「802.1x 認証設定」をクリックすると、WPA-802.1x 認証設定の入力が可能になります。



⑲ 認証モードの設定

WPA-802.1x 認証のモードを設定します。(「EAP-TLS」固定です。)

注意 「EAP-TLS」の証明書のインポート方法は、P. 28 の WEB 設定を参照してください。

⑳ WPA-802.1x 認証ユーザ名の設定

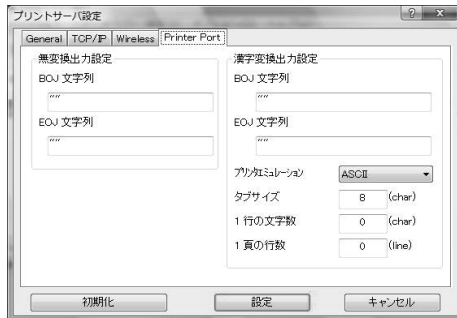
任意の英数文字列を最大 64 文字設定できます。(初期値は「NULL」です。)

接続可能な組合せ

認証方式		暗号化方式	設定項目
OPEN System	—	なし	なし
	—	WEP	WEP キー
	LEAP	動的 WEP	ユーザ名、パスワード
	EAP-TLS	動的 WEP	ユーザ名、ルート証明書 クライアント証明書、証明書パスワード
Shared Key		WEP	WEP キー
WPA	PSK	TKIP/AES	事前共有キー
	EAP-TLS		ユーザ名、ルート証明書 クライアント証明書、証明書パスワード

5. Printer Port の設定

「Printer Port」をクリックします。



① 無変換出力設定

印字の開始に付加する無変換文字列「BOJ 文字列」、印字の終了に付加する無変換文字列「EOJ 文字列」を設定できます。

注意 通常は、設定しないでください。

② 漢字変換出力設定

印字の開始に付加する漢字変換文字列「BOJ 文字列」、印字の終了に付加する漢字変換文字列「EOJ 文字列」を設定できます。

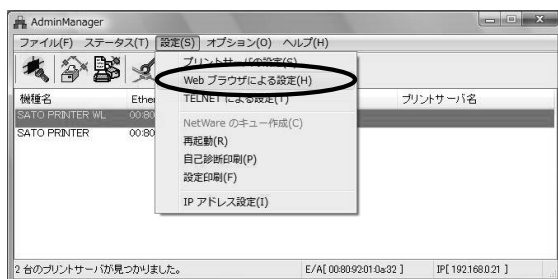
また、漢字変換出力時の「プリンタエミュレーション」、「タブサイズ」、「1 行の文字数」、「1 頁の行数」を設定できます。

注意 通常は、設定しないでください。

6. WEB 設定

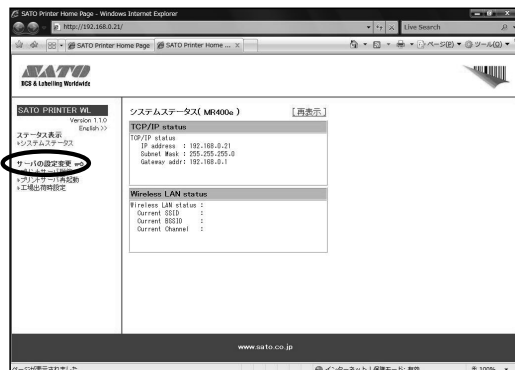
LAN インタフェースボードまたは無線 LAN インタフェースボードの設定を WEB ブラウザにて設定を行うことができます。

「Web ブラウザによる設定 (H)」をクリックします。



無線 LAN インタフェースボードの WEB 画面を表示します。

「サーバの設定変更」をクリックします。



ネットワークパスワードの入力画面を表示しますので、ユーザー名、パスワードを入力して「OK」をクリックします。

初期値は、ユーザー名「root」、パスワードは無しになります。



無線 LAN インタフェースボードの設定画面を表示します。

① TCP/IP の設定

[TCP/IP] をクリックします。



TCP/IP 設定画面では、「TCP/IP プロトコル」、「IP アドレス」、「サブネットマスク」、「ゲートウェイ」、「RARP」、「DHCP/BOOTP」、「root パスワード」の設定を行うことができます。

② 無線 LAN の設定

[Wireless] をクリックします。



無線 LAN 設定画面では、「SSID」、「通信チャネル」、「ネットワーク認証」、「WEP キー設定」、「802.1X 認証設定」、「Aironet Extensions」、「WPA 設定」、「WPA-PSK 設定」、「WPA802.1X 設定」の設定を行うことができます。

③Printer Portの設定
[PRINTER]をクリックします。



Printer Port 設定画面では、「BOJ 文字列」、「E0J 文字列」、「BOJ 文字列（漢字）」、「E0J 文字列（漢字）」、「プリンタ選択」、「タブサイズ」、「1 行の文字数」、「1 ページの行数」、「lpr/ftp バナー」の設定を行うことができます。

④証明書の設定
[Certificate]をクリックします。



証明書設定画面では、「クライアント証明書」、「ルート証明書」の設定を行うことができます。

注意 証明書のインポートは、WEB 設定画面でのみ設定することができます。
クライアント証明書の形式は、拡張子「.p12」のファイルになります。
ルート証明書の形式は、拡張子「.der」のファイルになります。
クライアント証明書は「.pfx」、ルート証明書は「.cer」でも利用可能です。

7. TELNET 設定

LAN インタフェースボードまたは無線 LAN インタフェースボードの設定を TELNET にて設定を行うことができます。

「TELNET による設定(I)」をクリックします。

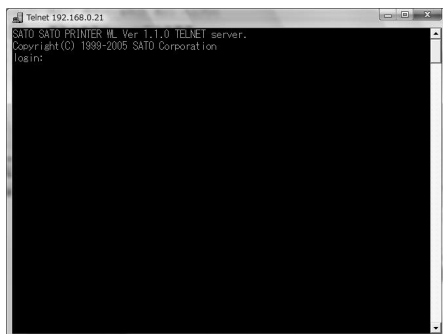


ヒント

Windows Vista/Server2008 では、標準で TELNET がインストールされていません。

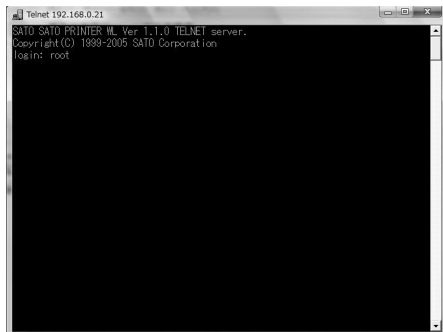
TELNET にて設定を行う場合、「Windows の機能」の「Telnet クライアント」をインストールしてから行ってください。

LAN インタフェースボードまたは無線 LAN インタフェースボードの TELNET 設定画面を表示します。

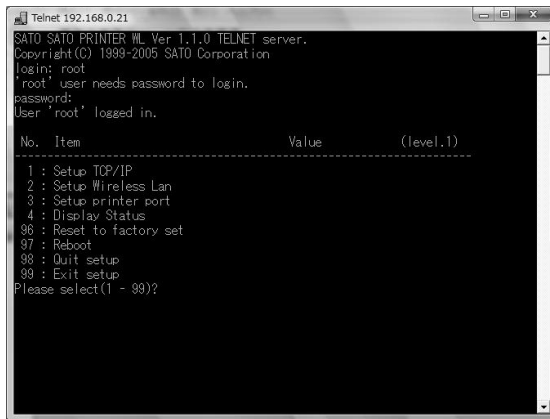


ネットワークパスワードの入力画面を表示しますので、login、password を入力して「Enter」キーを押します。

初期値は、login 「root」、password は無しになります。



LAN インタフェースボードまたは無線 LAN インタフェースボードの設定画面を表示します。

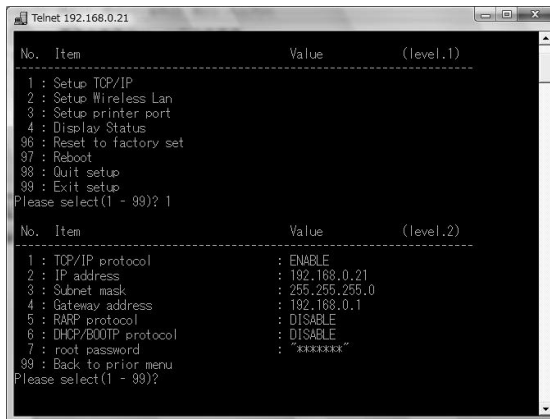


```
Telnet 192.168.0.21
SATO SATO PRINTER ML Ver 1.1.0 TELNET server.
Copyright (C) 1999-2005 SATO Corporation
login: root
'root' user needs password to login.
password:
User 'root' logged in.

No.  Item                               Value                               (level.1)
-----
 1 : Setup TCP/IP
 2 : Setup Wireless Lan
 3 : Setup printer port
 4 : Display Status
96 : Reset to factory set
97 : Reboot
98 : Quit setup
99 : Exit setup
Please select(1 - 99)?
```

①TCP/IP の設定

「1」 (Setup TCP/IP) を入力し、「Enter」キーを押します。



```
Telnet 192.168.0.21

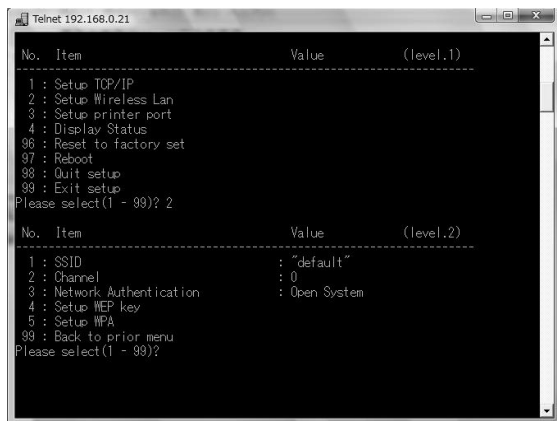
No.  Item                               Value                               (level.1)
-----
 1 : Setup TCP/IP
 2 : Setup Wireless Lan
 3 : Setup printer port
 4 : Display Status
96 : Reset to factory set
97 : Reboot
98 : Quit setup
99 : Exit setup
Please select(1 - 99)? 1

No.  Item                               Value                               (level.2)
-----
 1 : TCP/IP protocol                    : ENABLE
 2 : IP address                         : 192.168.0.21
 3 : Subnet mask                        : 255.255.255.0
 4 : Gateway address                   : 192.168.0.1
 5 : RARP protocol                      : DISABLE
 6 : DHCP/BOOTP protocol               : DISABLE
 7 : root password                     : "XXXXXXXX"
99 : Back to prior menu
Please select(1 - 99)?
```

TCP/IP 設定画面では、「TCP/IP プロトコル」、「IP アドレス」、「サブネットマスク」、「ゲートウェイアドレス」、「RARP プロトコル」、「DHCP/BOOTP プロトコル」、「root パスワード」の設定を行うことができます。

②無線 LAN の設定

「2」 (Setup Wireless LAN) を入力し、「Enter」キーを押します。



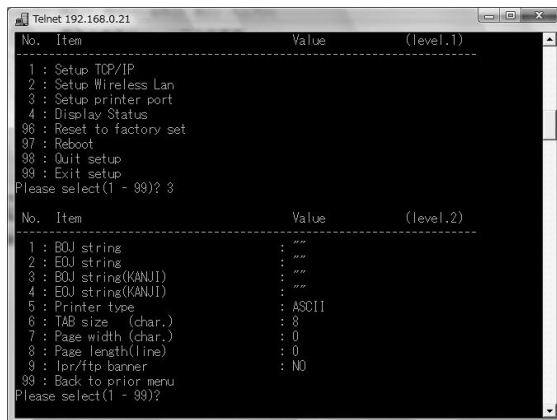
```
Telnet 192.168.0.21
-----
No.  Item                Value                (level.1)
-----
1 : Setup TCP/IP
2 : Setup Wireless Lan
3 : Setup printer port
4 : Display Status
96 : Reset to factory set
97 : Reboot
98 : Quit setup
99 : Exit setup
Please select(1 - 99)? 2

No.  Item                Value                (level.2)
-----
1 : SSID                  : "default"
2 : Channel                : 0
3 : Network Authentication : Open System
4 : Setup WEP key
5 : Setup WPA
99 : Back to prior menu
Please select(1 - 99)?
```

無線 LAN 設定画面では、「SSID」、「チャネル」、「ネットワーク認証」、「WEP キー」、「WPA」の設定を行うことができます。

③Printer Port の設定

「3」 (Setup Printer Port) を入力し、「Enter」キーを押します。

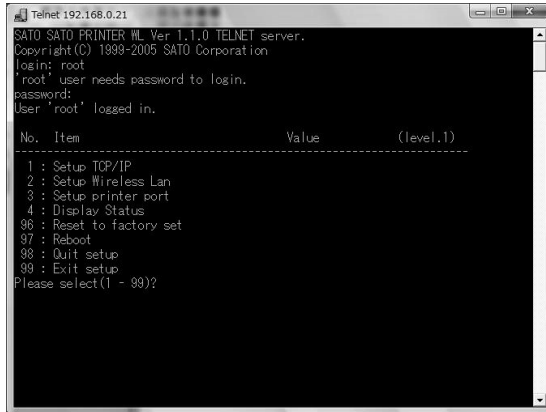


```
Telnet 192.168.0.21
-----
No.  Item                Value                (level.1)
-----
1 : Setup TCP/IP
2 : Setup Wireless Lan
3 : Setup printer port
4 : Display Status
96 : Reset to factory set
97 : Reboot
98 : Quit setup
99 : Exit setup
Please select(1 - 99)? 3

No.  Item                Value                (level.2)
-----
1 : B0J string            : ""
2 : E0J string            : ""
3 : B0J string(KANJI)    : ""
4 : E0J string(KANJI)    : ""
5 : Printer type          : ASCII
6 : TAB size (char.)     : 8
7 : Page width (char.)   : 0
8 : Page length(line)    : 0
9 : lpr/ftp banner        : NO
99 : Back to prior menu
Please select(1 - 99)?
```

Printer Port 設定画面では、「B0J 文字列」、「E0J 文字列」、「B0J 文字列 (漢字)」、「E0J 文字列 (漢字)」、「プリンタタイプ」、「タブサイズ」、「1 行の文字数」、「1 ページの行数」、「lpr/ftp バナー」の設定を行うことができます。

④その他の操作



```
Telnet 192.168.0.21
SATO SATO PRINTER M.L. Ver 1.1.0 TELNET server.
Copyright (C) 1999-2005 SATO Corporation
login: root
'root' user needs password to login.
password:
User 'root' logged in.

No.  Item                               Value          (level.1)
-----
 1 : Setup TCP/IP
 2 : Setup Wireless Lan
 3 : Setup printer port
 4 : Display Status
96 : Reset to factory set
97 : Reboot
98 : Quit setup
99 : Exit setup
Please select(1 - 99)?
```

- ・「4」(Display Status) を入力し、「Enter」キーを押すと、現在の LAN インタフェースボードまたは無線 LAN インタフェースボードの設定を表示します。
- ・「96」(Reset to factory set) を入力し、「Enter」キーを押すと、LAN インタフェースボードまたは無線 LAN インタフェースボードの設定を初期値に戻します。
- ・「97」(Reboot) を入力し、「Enter」キーを押すと、LAN インタフェースボードまたは無線 LAN インタフェースボードを再起動します。
- ・「98」(Quit setup) を入力し、「Enter」キーを押すと、設定した内容を登録せずに TELNET を終了します。
- ・「99」(Exit setup) を入力し、「Enter」キーを押すと、設定した内容を登録して TELNET を終了します。

5

プリンタから IP アドレスなどの設定情報を印字させるには

1. 「設定(S)」メニューから「設定印刷(F)」をクリックします。



2. 「はい(Y)」をクリックすると設定内容が印字されます。



LAN インタフェースボードまたは無線 LAN インタフェースボードの設定印刷では、TCP/IP 設定、無線 LAN 設定、プリンタポート設定の各設定が印字されます。

4. プリントドライバのインストール方法

プリントドライバをインストールする手順を説明します。

(Windows2000/XP/Server2003/Vista/Server2008)

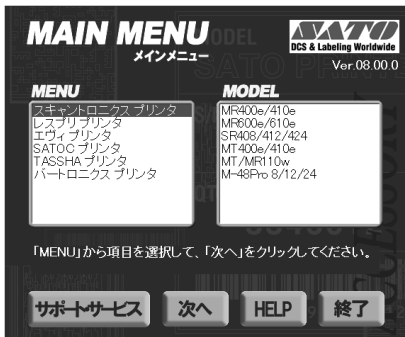
作業を始める前に

インストール作業を始める前に使用中のアプリケーションは全て終了させてください。

※ 下記事項に注意してインストールしてください。

- (1) プリントドライバのセットアップを行う場合は、Administrator 権限ユーザーでログインしてください。
- (2) プリントドライバのプロパティ設定、印刷設定を行う場合は、Administrator 権限ユーザーでログインしてください。
- (3) プリントドライバを使用する場合は、双方向通信での利用が前提となります。
- (4) Windows2000/Server2003 でターミナルサービスが起動している場合は、ターミナルサービスをインストールモードにしてください。
ただし、ターミナルサービス環境下でのプリントドライバの使用は保証しておりませんのでご注意ください。

- ① プリンタの電源がオフになっていることを確認して、Windows を起動します。
- ② 起動したら「アクセサリ CD-ROM」を CD-ROM ドライブにセットします。
※ WindowsVista の環境で「アクセサリ CD-ROM」を起動または自動再生すると、ユーザーアカウント制御メッセージが表示されますので、「許可 (A)」をクリックして、「アクセサリ CD-ROM」を起動してください。
- ③ 「メインメニュー」画面より、「スキャントロニクスプリンタ」をクリックします。
- ④ 「スキャントロニクスプリンタ」画面より、「プリントドライバ」をクリックします。
- ⑤ 「プリントドライバ」画面より、インストールするプリンタを選択します。
- ⑥ 「インストール」をクリックします。



メインメニュー



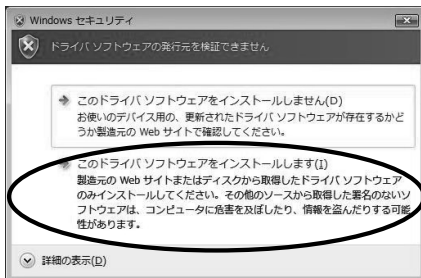
スキャントロニクスプリンタ



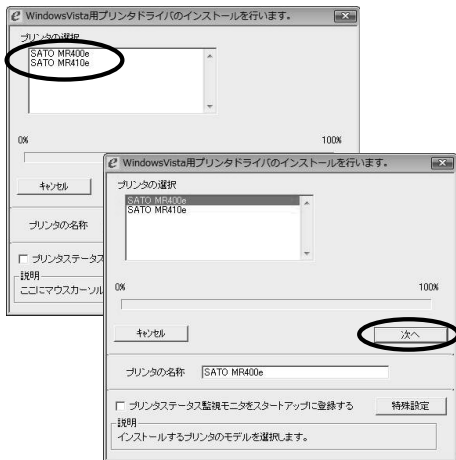
プリンタドライバ

※ Windows Vista/Server2008 の環境でインストールする場合、下記の Windows セキュリティメッセージが表示されます。

「このドライバソフトウェアをインストールします(!)」をクリックして、プリンタドライバをインストールしてください。



⑦ 「プリンタの選択」を行い「次へ」をクリックします。



※プリンタドライバをインストールすると同時にプリンタ設定ツール、ステータス監視モニタもインストールされます。

【プリンタの選択】

インストールするプリンタを選択します。

【プリンタの名称】

プリンタドライバの名称を入力できます。

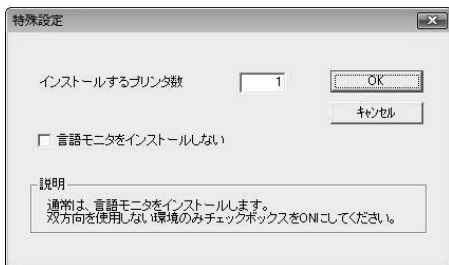
【チェックボックス】

チェックありの場合

・プリンタステータス監視モニタ

ドライバと共にインストールされます。

Windowsスタートアップに登録することができます。



【特殊設定】

・インストールするプリンタ数

プリンタドライバを複数インストールする場合、インストールするプリンタ数を入力します。

・言語モニタをインストールしない

双方向サポートを使用しない場合、チェックボックスをチェックします。

プリンタ設定ツール

プリンタ設定を行うアプリケーションソフトです。

プリンタの設定を変更する場合に必要になります。

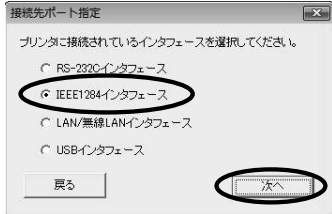
詳細は、SATO アクセサリ CD-ROM にある「プリンタ設定ツール説明書」を参照してください。

プリンタステータス監視モニタ

プリンタ状態を監視するソフトです。

パラレルポート インストール

- ⑧ 「IEEE1284 インタフェース」を選択し、「次へ」をクリックします。
「標準ポート」を選択し、「OK」をクリックします。

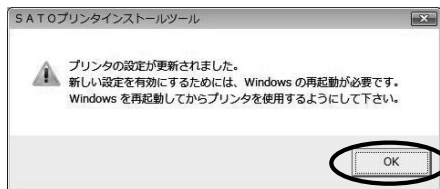


※「標準ポート」を選択し、「OK」をクリックすると⑨に移行しインストールが完了します。



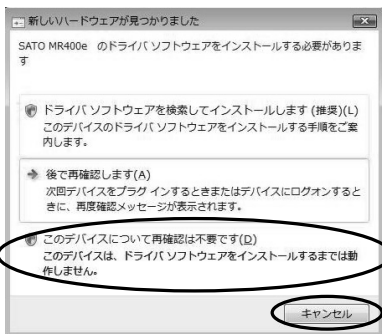
※標準ポートは「LPT1」でインストールします。
標準ポートは、双方向通信を行わない場合に指定します。
標準ポートの「LPT1」以外で接続するときは、ドライバのセットアップ完了後に、プリンタドライバのプロパティ画面で出力ポートを変更してください。

- ⑨ 「OK」をクリックします。プリンタドライバのインストールは終了です。



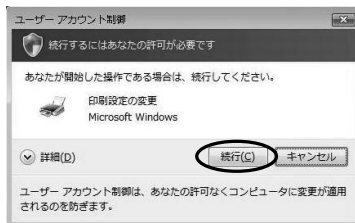
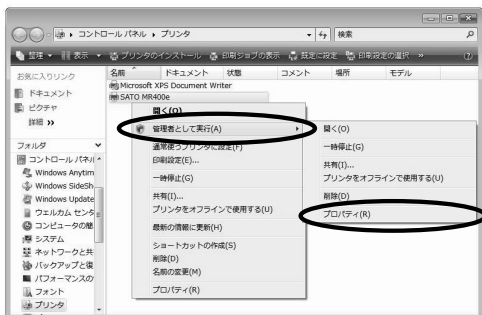
- ⑩ プリンタをパラレルインタフェースに接続し、プリンタの電源を入れます。
⑪ パソコンを再起動します。

- ⑫ 「新しいハードウェアが見つかりました」が表示されます。
「このデバイスについて再確認は不要です(D)」または「キャンセル」をクリックし、パラレルポートを自動認識したときのプリンタドライバのインストールを終了します。

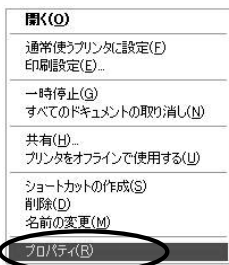


- ⑬ Windows Vista/Server2008 をご使用の場合、「管理者として実行(A)」を選択し、「プロパティ(R)」をクリックしてください。ユーザーアカウント制御メッセージが表示しますので、「続行(C)」をクリックしてください。
Windows2000/XP/Server2003 をご使用の場合、「プリンタ」フォルダを開き、インストールしたプリンタのアイコンをクリックし、「プロパティ(R)」をクリックしてください。

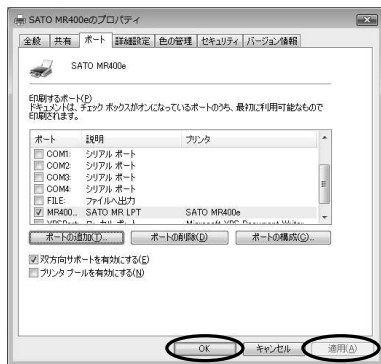
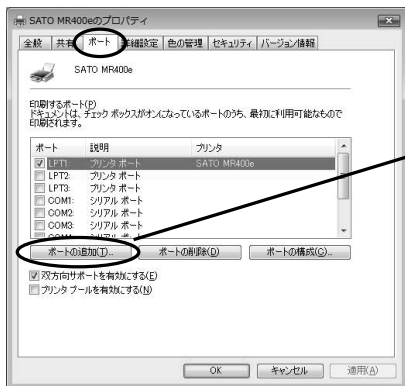
Windows Vista/Server2008



Windows2000/XP/Server2003

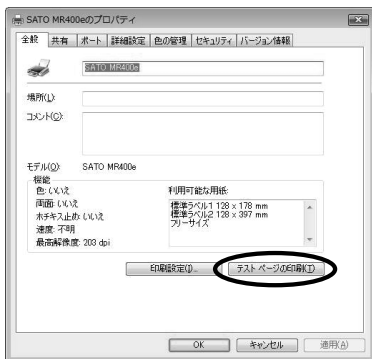


- ⑭ 「ポート」タブを開き、「ポートの追加(T)」ボタンをクリックします。
 「プリンタポート」より「SATO MR LPT Port Monitor」を選択し、「新しいポート(P)」をクリックします。
 「接続先のポート名(E)」に任意のポート名を入力し、「OK」をクリックします。
 「プリンタポート」に戻りますので、「閉じる」をクリックします。
 「適用(A)」、「OK」をクリックし、インストールは完了です。

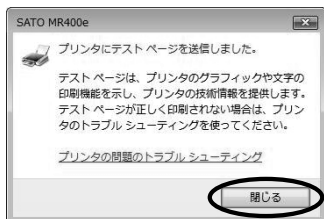


- ⑮ 「テストページの印刷(T)」をクリックしてください。
Windows のテストラベルが発行されます。ラベルが発行された場合はプリンタと接続できている状態となります。テストページの送信が表示されますので、「閉じる」をクリックします。プロパティの「OK」をクリックし、プリンタとの接続確認は完了です。

Windows Vista/Server2008 の場合



Windows2000/XP/Server2003 の場合



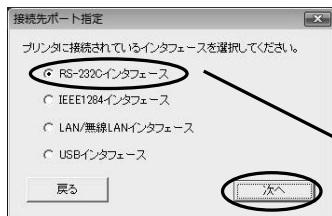
ヒント

「プリンタドライバのテスト印字ができない場合は」

1. プリンタドライバにて指定したポート「LPT、LAN、COM、USB」のケーブルが接続されていますか。
2. プリンタの電源は入っていますか。

シリアルポート インストール

- ⑧ 「RS-232C インタフェース」を選択し、「次へ」をクリックします。
「SATO ポート(推奨)」を選択し、「OK」をクリックします。



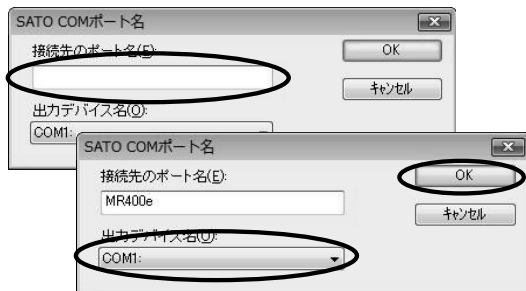
※「SATO ポート(推奨)」を選択し、「OK」をクリックすると⑨に移行します。

※「標準ポート」を選択し、「OK」をクリックすると⑩に移行しインストールが完了します。



※標準ポートは「COM1」でインストールします。
標準ポートは、双方向通信を行わない場合に指定します。
標準ポートの「COM1」以外で接続するときは、ドライバのセットアップ完了後に、プリンタドライバのプロパティ画面で出力ポートを変更してください。

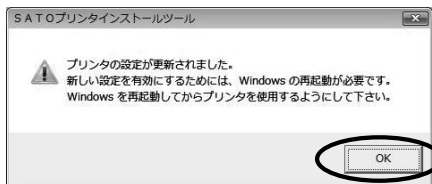
- ⑨ 接続先のポート名(E)に任意のポート名を入力します。出力デバイス名(O)を選択し、「OK」をクリックします。



【接続先のポート名(E)】
任意のポート名を入力します。

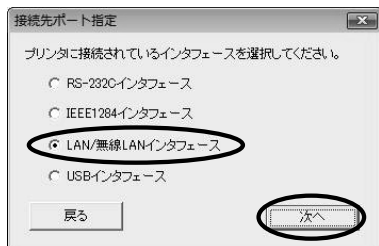
【出力デバイス名(O)】
出力先のデバイスを選択します。

- ⑩ 「OK」をクリックします。以上でプリンタドライバのインストールは完了です。
Windows を再起動して、プリンタドライバとプリンタが接続されているかを確認します。



LAN ポート インストール

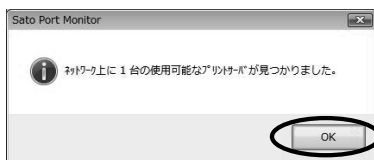
- ⑧ 「LAN/無線 LAN インタフェース」を選択し、「次へ」をクリックします。



- ⑨ プリンタIPアドレスが指定してあり、LAN 環境下にプリンタが設置してある場合には、プリンタの電源を入れて「サーバ検索」をクリックします。
また、直接 IP アドレスを入力することもできます。



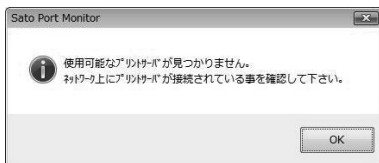
- ⑩ 「サーバ検索」により検索した結果が表示されます。「OK」をクリックし検索した IP アドレスを選択します。





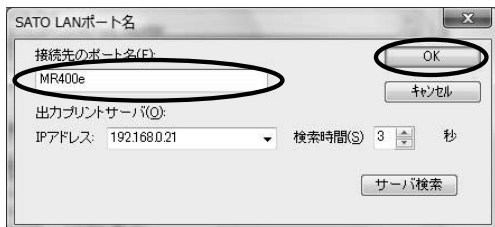
ヒント

検索できなかった場合、以下の点を確認してください。

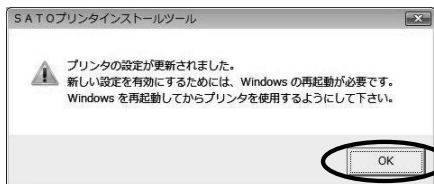


1. プリンタの電源を確認してください。
2. LAN インタフェースボードまたは無線 LAN インタフェースボードの STATUS LED が点灯していることを確認してください。
3. ご使用のパソコンがネットワーク環境に接続されているか確認してください。
4. パソコンとプリンタを LAN クロスケーブルで直接つなぐか、ハブのカスケードを外して、ローカルの LAN 環境にしてください。
5. ご使用のパソコンの OS が WindowsXP SP2 以降、Server2003 SP1 以降、Vista、Server2008 の場合 Windows ファイアウォールを無効にしてください。
6. サーバ検索時間(P.44 ⑨参照)を長めに設定してください。

⑪ 「接続先のポート名(E)」に任意のポート名を入力し、「OK」をクリックします。



⑫ 「OK」をクリックします。以上でプリンタドライバのインストールは完了です。Windows を再起動して、プリンタドライバとプリンタが接続されているかを確認します。

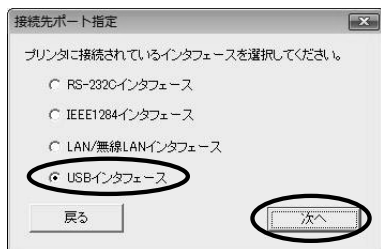


USB ポート インストール

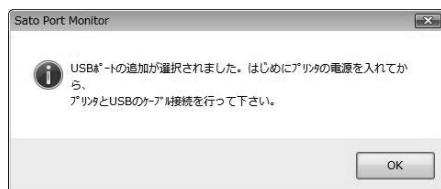
注意 プリンタの電源をオフにし、USB ケーブルをパソコンと接続します。

インストール途中で「プリンタの電源を入れる」メッセージが表示されたときに、はじめてプリンタの電源を入れてください。

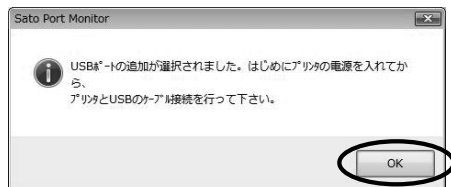
⑧ 「USB インタフェース」を選択し、「次へ」をクリックします。



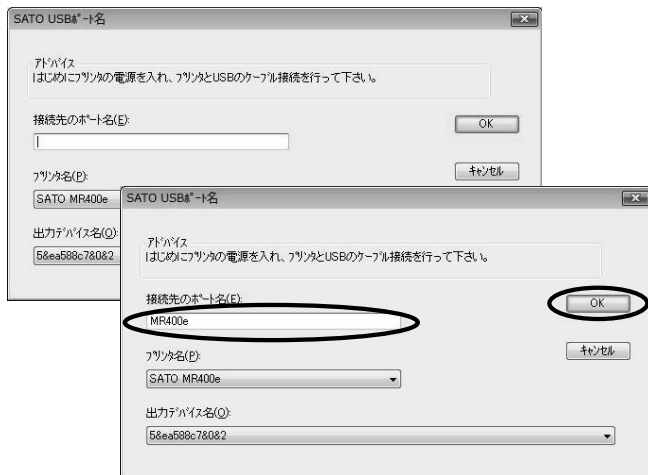
⑨ プリンタの電源を入れます。
「ドライバ情報データベースの作成」が起動し、USB デバイスが登録されます。



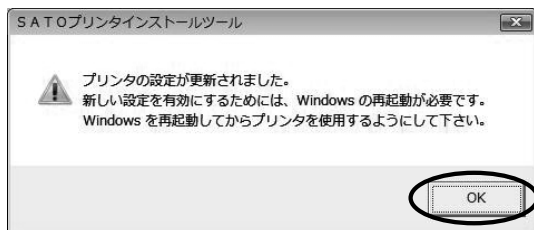
⑩ 「OK」をクリックします。



⑪ 「接続先のポート名(E)」に任意のポート名を入力し、「OK」をクリックします。



⑫ 「OK」をクリックします。以上でプリンタドライバのインストールは完了です。
Windows を再起動して、プリンタドライバとプリンタが接続されているかを確認
します。



5. ラベル発行までの流れ(Windows2000/XP/Server2003/Vista/Server2008)

アプリケーションソフトから作成したレイアウトを印字するときは、最初にプリンタドライバの設定を確認してから行います。

※本書のプリンタドライバのプロパティ画面は、WindowsVistaを使用しています。

Windows2000/XP/Server2003/Server2008 では画面構成が異なる場合がありますが、機能は共通となります。

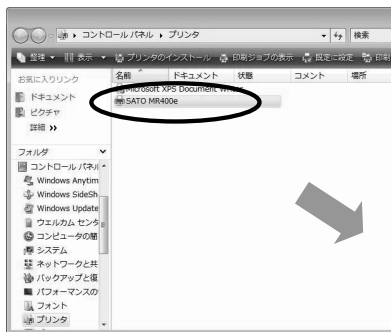
1

プリンタドライバの設定シートを開きます

WindowsVistaの場合、プリンタドライバのプロパティ画面を開くときは、

「管理者として実行(A)」を選択してください。「管理者として実行(A)」を選択せずに設定すると、設定した値が有効になりません。ご注意ください。

①「プリンタ」フォルダを開き、使用しているプリンタのアイコンを右クリックしてください。



※ここでは例として「MR400e」を選択しています。

ヒント

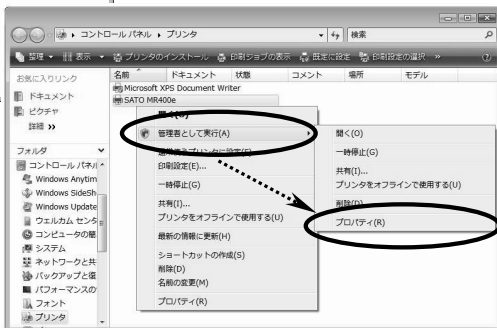
「プリンタ」フォルダを開く一般的な方法は、



をクリックし、「コントロールパネル」

⇒「プリンタ」を選択します。

②メニューから「管理者として実行(A)」を選択し、「プロパティ(R)」を選択してください。

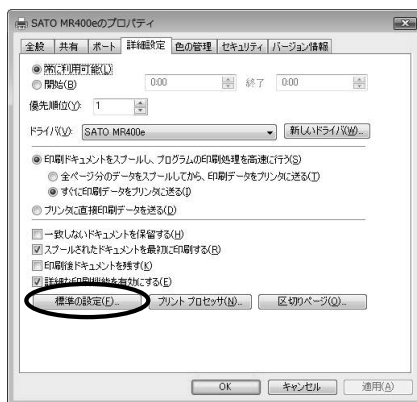


③ユーザーアカウント制御メッセージが表示しますので、「続行(C)」をクリックすると、プリンタドライバのプロパティが開きます。

全ユーザーのプリンタドライバの設定を行うときは、「標準の設定」を使用します。
新規追加したユーザーのドライバの設定は、「標準の設定」の値が初期値になります。



④「詳細設定」タブを選択してください。



⑤「標準の設定(F)」ボタンをクリックしてください。
プリンタドライバの設定シートが開きます。



個別ユーザーのみのプリンタドライバの設定を行うときは、「印刷設定」を使用します。



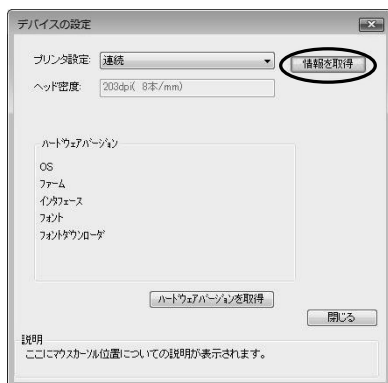
⑥「印刷設定(I)」を選択してください。
プリンタドライバの設定シートが開きます。



2

プリンタの状態を取得します

- ①「ユーティリティ」タブを選択し、「デバイスの設定」ボタンをクリックしてください。



ヒント

プリンタの設定情報を取得します。
情報を取得する場合、プリンタの電源を入れた状態で「情報を取得」ボタンをクリックしてください。
※プリンタドライバをインストールしたあとは、必ず「ユーティリティ」タブにある「デバイスの設定」ボタンをクリックし、デバイス設定画面で「情報を取得」ボタンをクリックしてください。

- ②プリンタの電源を入れてください。

- ③「情報を取得」ボタンをクリックしてください。

プリンタ本体で指定しているプリンタ情報を取得し、「プリンタ設定」、「ヘッド密度」の欄に表示します。

プリンタ設定のリストボックスにて、プリンタ動作を選択し設定できます。

3

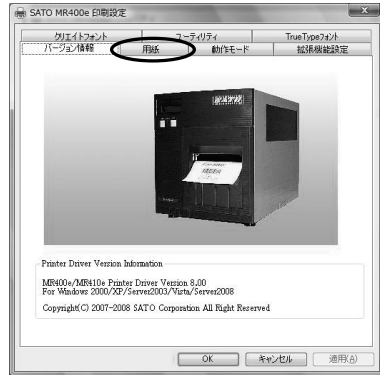
用紙を選びます

①「用紙」タブを選択してください。



<MT/MR110w>

標準ラベル 1 266 × 300(mm)
 標準ラベル 2 258 × 50(mm)
 JAMA (L) 276 × 105(mm)
 JAMA (M) 276 × 85(mm)
 JAMA (S) 276 × 70(mm)



②「用紙名」の▼をクリックして、表示されるリストから目的の用紙を選択してください。

「用紙名」には数種類の標準ラベルがあらかじめ登録されています。

<MR400e/410e, MT400e/410e, M-48Pro>

標準ラベル 1 128 × 178(mm)
 標準ラベル 2 128 × 400(mm)

<MR600e>

標準ラベル 1 180 × 239(mm)
 標準ラベル 2 180 × 400(mm)

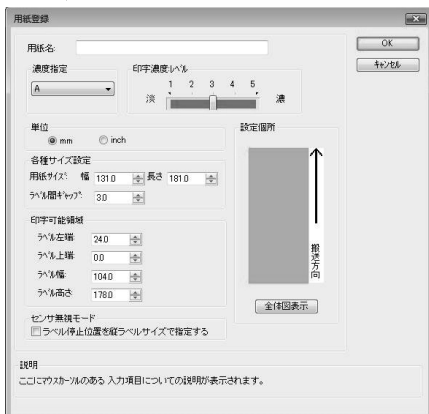
<MR610e>

標準ラベル 1 180 × 181(mm)
 標準ラベル 2 180 × 400(mm)

※標準ラベル以外の用紙を使用するときは

用紙登録 をクリックして新たに用紙を登録します。

「用紙登録」に関する詳細は、アクセサリ CD-ROM に収められている「プリンタドライバ説明書」の「1.4 用紙」「1.5 用紙(MT/MR110w)」を参照してください。



ヒント

ここで選択した用紙がアプリケーションソフトで通常使用する用紙に設定されます。アプリケーションソフトによっては、あらためてアプリケーションソフトの用紙選択機能において用紙を選択する必要があるものもあります。アプリケーションソフトの用紙選択機能に関しては、アプリケーションソフトのマニュアルを参照してください。

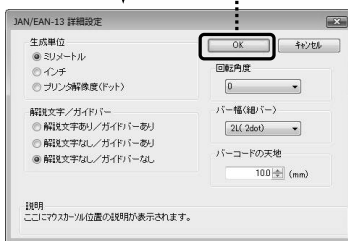
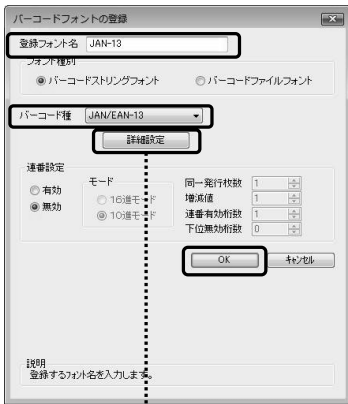
注意 プリンタドライバ経由で発行を行う場合は、濃度設定と印字濃度レベルが有効となりますので、本設定で印字が適性になるように設定をお願いします。

4

バーコードを印字するには

バーコードを印字するには、まず印字するバーコードの設定を「バーコードフォント」として登録する必要があります。その結果アプリケーションソフトからは、登録したバーコードフォントをフォント種として呼び出すことができます。以下に「バーコードフォント」の登録手順を示します。

①「**クリエイトフォント**」タブを選択し、「**バーコードフォント**」グループの「**新規登録**」ボタンをクリックしてください。



②「登録フォント名」に、登録するバーコードフォントの名称を入力してください。

③「バーコード種」の▼をクリックして、表示されるリストから、登録するバーコード種を選択し、「詳細設定」ボタンをクリックしてください。

④選択したバーコード種に対応する設定ダイアログが表示されます。

※ここでは例として「JAN/EAN-13」の設定を行っています。

⑤設定が終了したら「OK」をクリックしてください。ひとつ前のダイアログに戻りますので、もう一度「OK」をクリックしてください。


以上の手順でバーコードフォントを登録することにより、アプリケーションソフトからバーコードを印字することが可能となります。

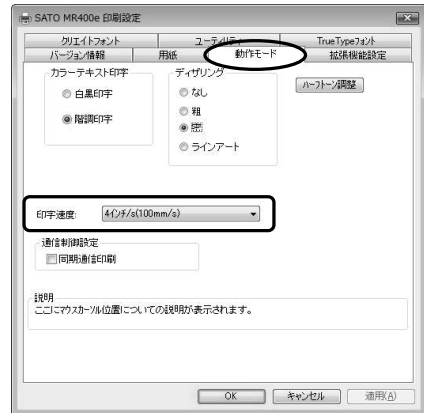
注意 使用するアプリケーションによっては、プリンタドライバで設定した装飾フォント・バーコードフォントが印字されないことがあります。

5

プリンタ動作を設定します

①「動作モード」タブを選択してください。

②「印字速度」の  をクリックして、表示されるリストから印字速度を選択してください。



6

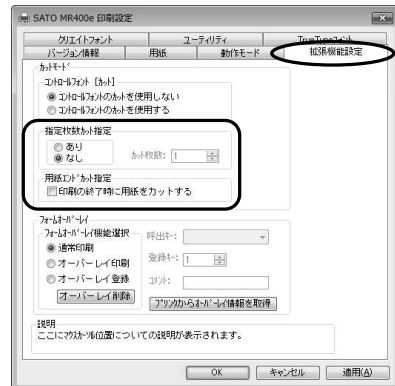
カッタ付プリンタをご使用の場合は

①「拡張機能設定」タブを選択してください。

②一定枚数ごとにラベルをカットする場合は「指定枚数カット指定」を「あり」にして、「カット枚数」を設定してください。

③印刷終了ごとにラベルをカットする場合は「印刷の終了時に用紙をカットする」チェックボックスにチェックを入れてください。

※「拡張機能設定」シートに関する詳細は、アクセサリCD-ROMに収められている「プリンタドライバ説明書」の「1.8 拡張処理設定」を参照してください。



7

設定が終わったら、プリンタドライバの設定シートを閉じます

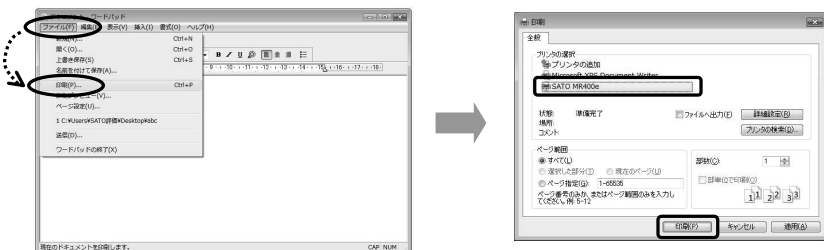
設定シートの「OK」をクリックしてください。



8

ラベル発行を開始します

印刷の開始方法はアプリケーションソフトによって多少異なりますが、一般的には「ファイル(F)」メニューから「印刷(P)」を選択したときに表示されるダイアログの「OK」ボタンをクリックすることで実行されます。ご使用のアプリケーションソフトの取扱説明書も併せて参照してください。



ヒント

印刷を実行する前に、アプリケーションソフトが使用するプリンタドライバが、ご使用のプリンタにあったドライバに設定されているか確認してください。

ドライバの設定方法はアプリケーションソフトによって多少異なりますが、一般的には、「ファイル(F)」メニューから「印刷(P)」を選択したときに表示されるダイアログ中にある「プリンタ名(N)」の ▾ をクリックし、表示されるリストから目的のものを選択することで設定できます。

またアプリケーションソフトによっては「③用紙を選びます」で選択した用紙を使用するために、アプリケーションソフトの用紙選択機能において、あらためて用紙を選択する必要があるものもあります。

注意 弊社ソフトウェア (Multi LABELIST、Labelian (ラベリアン・ラベリ庵) など) を使用した際にプリンタドライバの設定が有効にならない場合があります。ご注意ください。

6. プリンタドライバのアンインストール方法

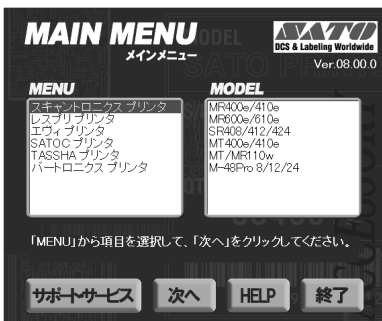
プリンタドライバをアンインストールする手順を説明します。
(Windows2000/XP/Server2003/Vista/Server2008)

お願い

アンインストール作業を始める前に、使用中のアプリケーションは、全て終了してください。

アンインストールは必ず次の方法で行ってください。

- ① プリンタの電源がオフになっていることを確認してください。
- ② 「アクセサリ CD-ROM」を CD-ROM ドライブにセットします。
- ③ 「メインメニュー」画面より、「スキャントロニクスプリンタ」をクリックします。
- ④ 「スキャントロニクスプリンタ」画面より、「プリンタドライバ」をクリックします。
- ⑤ 「プリンタドライバ」画面より、アンインストールするプリンタを選択します。
- ⑥ 「アンインストール」をクリックします。



メインメニュー

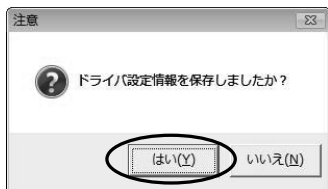


スキャントロニクスプリンタ



プリンタドライバ

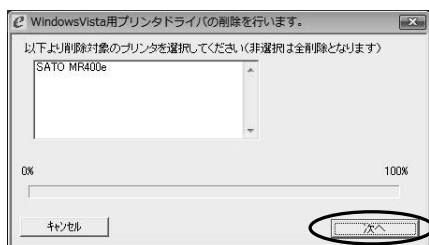
- ⑦ ユーティリティでドライバプロパティを保存している場合は、「はい(Y)」をクリックします。



ヒント

アンインストールを実施すると「用紙」「クリエイティブォント」などの指定した項目が削除されますので、ドライバの「ユーティリティ」の「設定情報の読みだし・保存」にてファイル保存を行ってください。保存方法は、P. 58 を参照してください。

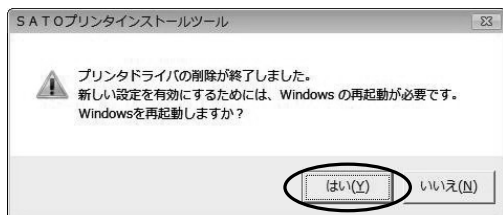
- ⑧ プリンタドライバをアンインストール（削除）します。
プリンタを選択せずにアンインストールすると、表示している全てのプリンタドライバを削除します。プリンタを選択してアンインストールすると、選択したプリンタドライバのみ削除します。



ヒント

アンインストールを実施すると、プリンタドライバをインストールしたときにインストールした、「SATOポート」、「ステータス監視モニタ」、「プリンタ設定ツール」も削除します。

- ⑨ 「はい(Y)」をクリックします。
以上でプリンタドライバのアンインストールは完了です。
必ず Windows を再起動してください。



7. ファイル保存方法

Windows2000/XP/Server2003/Vista/Server2008 のファイル保存方法について説明します。

※本書のプリンタドライバのプロパティ画面は、Windows Vista を使用しています。

Windows2000/XP/Server2003/Server2008 では画面構成が異なる場合がありますが、機能は共通となります。

- ① プリンタドライバの「印刷設定」または「標準の設定」を開き、「ユーティリティ」タブをクリックして「設定情報の読みだし・保存」ボタンをクリックします。



ヒント

印刷設定を開く方法は P. 50 を参照してください。

- ② ファイル名を入力します。



ヒント

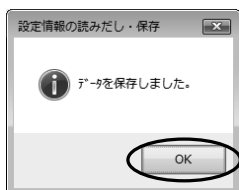
「参照」をクリックすると、任意の場所にファイルを保存することができます。



ヒント

保存するファイルは、必ず拡張子「.ini」を付加してください。

- ③ ファイル名を入力し「保存」をクリックします。
「データを保存しました。」の表示後、「OK」をクリックします。



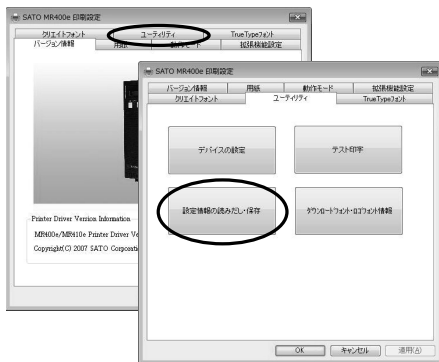
8. ファイル読み込み方法

Windows2000/XP/Server2003/Vista/Server2008 のファイル読み込み方法について説明します。

※本書のプリンタドライバのプロパティ画面は、Windows Vista を使用しています。

Windows2000/XP/Server2003/Server2008 では画面構成が異なる場合がありますが、機能は共通となります。

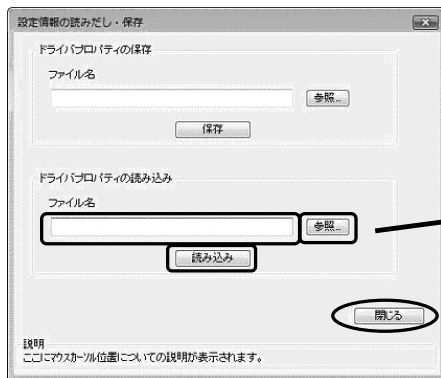
- ① プリンタドライバの「印刷設定」または「標準の設定」を開き、「ユーティリティ」タブをクリックして「設定情報の読みだし・保存」ボタンをクリックします。



ヒント

印刷設定を開く方法は P. 50 を参照してください。

- ② ファイル名を入力します。



ヒント

「参照」をクリックすると、任意の場所にファイルを保存することができます。

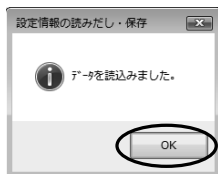


ヒント

ファイルを読み込む場合は、必ず拡張子「.ini」を付加してください。

③ ファイル名を入力し「読み込み」をクリックします。

「データを読み込みました。」の表示後、「OK」をクリックします。

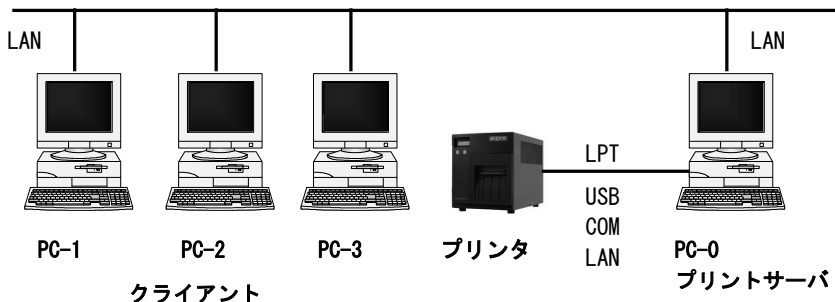


9. プリンタドライバ共有機能

プリンタドライバを共有設定で使用する場合のセットアップ手順について説明します。

1. 接続形態

接続は、下図に示しますように、1台のPC (PC-0) をプリントサーバにし、他のPC (PC-1、PC-2、PC-3、...) はクライアントとします。また、全てのPCはLAN接続されており、プリントサーバとプリンタはLPT (もしくはCOM、USB、LAN) で接続します。



2. プリンタドライバの設定方法

- ①プリントサーバ、クライアントともにアクセサリ CD-ROM より、プリンタドライバをインストールします。

注意 1 「プリンタ」フォルダの「プリンタ追加」アイコンにて追加した場合、必要なファイルがインストールされず正常動作しないおそれがあります。(ネットワークコンピュータ上の共有プリンタアイコンのコピーも同じです。)

注意 2 クライアントにプリンタドライバをインストールする場合、SATO ポートではなくローカルポート (LPT、COM) を指定してください。

注意 3 プrintサーバにプリンタドライバをインストールする場合は、SATO ポートを指定してください。

- ②プリントサーバのプリンタドライバから正常にラベル発行ができることを確認後、プリンタドライバを「共有」に設定してください。
- ③クライアントのプリンタドライバの出力先ポートを、サーバで設定した共有プリンタを指定します。

環 境	設定方法
Windows2000 WindowsXP WindowsServer2003 WindowsVista WindowsServer2008	ドライバ→「プロパティ」→「ポート」→「ポートの追加」→「Local Port」にてポートの追加を行います。 ポート名に「¥¥共有 PC 名¥共有プリンタ名」を指定します。

④クライアント側のプリンタドライバの双方向通信を OFF にします。

環 境	設定方法
Windows2000 WindowsXP WindowsServer2003 WindowsVista WindowsServer2008	ドライバ→「プロパティ」→「ポート」→「双方向サポートを有効にする」のチェックをはずします。

3. 制限事項

クライアントでは、「双方向通信」を無効設定にしているため、下記の制限事項が生じます。

- ①プリンタで発生した「用紙切れ」、「リボン切れ」などの各種エラーを認識することができません。
- ②「拡張処理設定」タブの「プリンタからオーバーレイ情報を取得」は使用できません。それに伴い「フォームオーバーレイ印刷」も使用できません。
- ③「ユーティリティ」タブの「デバイスの設定」タブの「情報を取得」と「ハードウェアバージョンを取得」は使用できません。
- ④「動作モード」タブの「動作モード」指定、および「用紙」タブの「メカニズム補正－各種オフセット」指定が制限されます。
- ⑤ステータス監視モニタは使用できません。
- ⑥ダウンロードツールは使用できません。それに伴い、ダウンロードフォント・ロゴも使用できません。
- ⑦プリンタ設定ツールは使用できません。

10. Q & A

Q1 「プリンタドライバがインストールできない」

チェック アクセサリCD-ROMに異常はありませんか？

エクスペローラでCD-ROMが読めるか確認してください。

チェック 複数のアプリケーションソフトを起動していませんか？

他のアプリケーションソフトを終了させてからもう一度インストールしてください。

チェック Windowsは、安定していますか？

エラーが発生してプログラムが強制終了された後などは、Windowsが不安定な状態のため、インストールできないことがあります。Windowsを再起動して再度インストールを行ってください。

Q2 「アプリケーションエラー」「一般保護違反」

チェック 次のメッセージが表示されていませんか？

「メモリ不足のため、正常に印刷することができませんでした。」

ご使用のアプリケーションソフトの取扱説明書を参照して、アプリケーションソフトに必要なメモリが確保されているか確認してください。

複数のアプリケーションソフトを起動していると、印刷のためのメモリが確保されず、正しく印刷されないことがあります。他のアプリケーションソフトを終了させてから、もう一度印刷を実行してください。

「メモリ不足のため、バックグラウンド印刷ができませんでした。」

「ディスク容量が不足しているため、正常に印刷できませんでした。」

不要なファイルを削除してハードディスク容量をあけてください。

チェック 印字データに異常はありませんか？

印字データを再確認してください。設定内容を再確認してください。

別の印字データで印刷を確認してください。設定内容を再確認してください。

チェック プリンタドライバが正しくインストールされていますか？

プリンタドライバが正しくインストールされていないことが考えられます。一旦、削除(アンインストール)して、再度インストールを行ってください。

Q3 「XXXXX LPT (USB, LAN, COM) 書き込みエラー XXXXX (SATO MR400e)」

チェック プリンタは、起動していますか？プリンタにケーブルは接続されていますか？

ケーブルが正しく接続されているかどうか確認してください。

チェック スプーラは、正常に動作していますか？

スプーラが正常に動作していない場合が考えられます。スプーラをやめてプリンタに直接データを送るようにしてください。(プリンタプロパティの「スプールの設定(L)」で指定することができます。)

チェック プリンタポートは、正常に動作していますか？

プリンタポートが正常に動作していない可能性があります。プリンタポートの状態を確認してください。

チェック プリンタドライバが正しくインストールされていますか？

プリンタドライバが正しくインストールされていないことが考えられます。一旦、削除(アンインストール)して、再度インストールを行ってください。

Q4 「プリンタドライバで設定した印字速度・クリエイトフォントが有効にならない」

チェック 使用しているアプリケーションソフトを確認してください。

使用するアプリケーションソフトによっては、プリンタドライバで設定したクリエイトフォントが印字されないことがあります。プリンタドライバの設定が反映されない場合、アプリケーション販売元に確認してください。

弊社ソフトウェア(Multi LABELIST、Labelian(ラベリアン・ラベリ庵)など)を使用すると、プリンタドライバの設定が有効になりません。弊社ソフトウェア側でプリンタの印字条件を設定してください。

11. アクセサリ CD-ROM

添付品の「アクセサリ CD-ROM」には、以下の項目を提供しています。

1. プリンタドライバ(インストール/アンインストール)		
OS	プリンタドライバ対応機種	
・Windows2000 版	・MR400e/410e	} スキャントロニクス プリンタ
・WindowsXP 版	・MR600e/610e	
・WindowsServer2003 版	・SR408/412/424	
・WindowsVista 版	・MT400e/410e	
・WindowsServer2008 版	・MT/MR110w	
	・M-48Pro 8/12/24	} レスプリ プリンタ
	・レスプリシリーズ	
	・レスプリ V シリーズ	} エヴィ プリンタ
	・EV208R/212R	} SATOC プリンタ
	・ST308R/312R	
	・TR400e/410e	} TASSHA プリンタ パートロニクス プリンタ
	・TASSHA	
	・RT308R	
2. ユーティリティ		
MR400e/410e プリンタ設定ツール	}	} スキャントロニクス プリンタ
MR600e/610e プリンタ設定ツール		
SR408/412/424 プリンタ設定ツール		
MT/MR110w プリンタ設定ツール		
MT400e/410e プリンタ設定ツール		
M-48Pro 8/12/24 プリンタ設定ツール		
ネットワークユーティリティ		
フォント作成ツール		
ロゴ作成ツール		
ダウンロードツール		
L' esprit-2/400 プリンタ設定ツール	}	} レスプリ プリンタ
L' espritV プリンタ設定ツール		
L' esprit-2/400 ネットワークユーティリティ		
L' espritV ネットワークユーティリティ		
フォント作成ツール		
ロゴ作成ツール	}	} エヴィ プリンタ
ダウンロードツール		
EV208R/212R プリンタ設定ツール		
EV208R/212R ネットワークユーティリティ		
フォント作成ツール		
ロゴ作成ツール		
ダウンロードツール		

ST308R/312R プリンタ設定ツール
TR400e/410e プリンタ設定ツール
ネットワークユーティリティ
フォント作成ツール
ロゴ作成ツール
ダウンロードツール

SATOC プリンタ

TASSHA プリンタ設定ツール
ネットワークユーティリティ
フォント作成ツール
ロゴ作成ツール
ダウンロードツール

TASSHA プリンタ

3. マニュアル(PDF)

使用許諾書
プリンタドライババージョン一覧表
SBPLプログラミングガイド
ネットワークユーティリティ説明書

全機種共通

フォント作成ツール説明書
ロゴ作成ツール説明書
ダウンロードツール説明書
プリンタステータス監視モニタ説明書
プリンタドライバ説明書
プリンタ設定ツール説明書

スキヤントロニクス プリンタ
レスプリ プリンタ
SATOC プリンタ
TASSHA プリンタ
パートロニクス プリンタ

フォント作成ツール説明書
ロゴ作成ツール説明書
ダウンロードツール説明書
L' espritV ネットワークユーティリティ説明書
プリンタステータス監視モニタ説明書
プリンタドライバ説明書
プリンタ設定ツール説明書

レスプリ プリンタ

4. TCセンター

全機種共通

5. サポートセンター

全機種共通

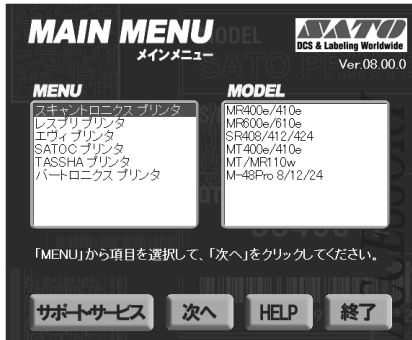
6. ホームページ

全機種共通

7. Adobe Reader のダウンロードサイト

全機種共通

CD-ROM を、CD-ROMドライブにセットすると、「メインメニュー」が表示されます。



「メインメニュー」から「スキャントロニクスプリンタ」をダブルクリックすると、「スキャントロニクスプリンタ」に移行します。



「メインメニュー」から「サポート・サービス」をクリックすると、「サポートサービス」に移行します。



※画面が表示されないときは、エクスプローラで CD-ROM の「AcclInstall.exe」をクリックしてください。「メインメニュー」が表示されます。

スキャントロニクスプリンタから各項目をクリックすると各画面に移行します。

スキャントロニクスプリンタ



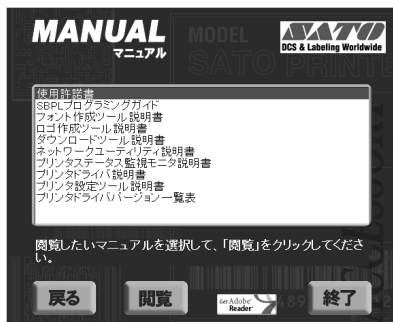
メインメニュー



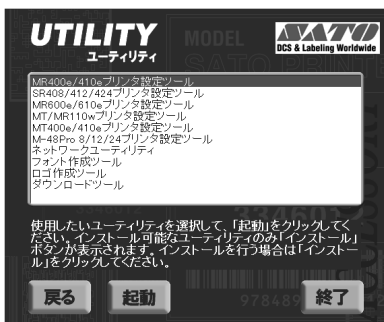
プリンタドライバ



マニュアル



ユーティリティ



マニュアルを閲覧する前に必ず、Adobe Reader をインストールしてください。

12. ご注意

●ご注意

本CD-ROMを音楽プレイヤーで再生しないでください。スピーカを破損したり、耳を傷つけるおそれがあります。製品を安全にご使用いただくために、「取扱説明書」をよくお読みの上、正しくお使いください。フォント、ロゴデータについては、お客様にてマスターデータの管理をお願いします。いかなる時もプリンタ本体に登録されているデータは保証いたしません。

●プリンタドライバのバージョンにより、ここに記載されている CD-ROM の内容およびデザインが変更される場合があります。

●使用許諾について

本ソフトウェアをご使用いただく上で、はじめにCD-ROMの中にある使用許諾書をご確認ください。

●動作環境について(お使いになるパソコンは以下のスペックを推奨します。)

◆米国マイクロソフト社の推奨スペックでご使用ください。

◆画面の表示色 32,000[High Color(16ビット)]以上の表示

◆Windows 2000 Professional、Windows 2000 Server、Windows XP Home Edition、Windows XP Professional、Windows Server 2003 Standard Edition、Windows Vista Home Basic、Windows Vista Home Premium、Windows Vista Business、Windows Vista Ultimate、Windows Server 2008 Standard Edition の 32 ビットの動作環境

◆画面サイズ 1024×768 ピクセル以上

●Windows は、米国マイクロソフト社の登録商標です。

●他の製品名は、各社の商標または登録商標です。

MEMO



Q C0773710